大正六年四月一日（日曜日）（一） KEIJO NIPPO 京城日報 （明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）（年中無休刊）

京城日報

三十一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 ［以下 illegible］
廣告料 ▲五號活字［illegible］
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介
電話 ［illegible］

時間表 ［illegible］

露國の形勢

▲鐵道大會議開催 今回露都に於て開催の鐵道大會議は各鐵道より代表者各一名を選出參會せしむる事に決したるが東清鐵道代表者は既に露都に向け出發せり（長春特電）

▲ウ氏の革命成功祝電 米國大統領ウヰルソン氏は露國の朋友某々に對し祝電を發し革命成功を賀揚せり（桑港電報）

◎支那參戰問題行惱み 支那の聯合國加入問題行惱みとなれりとの報あり（北京電報）

◎米國會と宣戰反對 米國國會議員中宣戰反對者あり四月二日の臨時議會に於て宣戰の決議を見る能はざる可し（桑港電報）

◎梁氏外交總長說 伍廷芳氏の後任として梁啓超氏の外交總長說最も有力也（北京電報）

◎兩陛行啓仰出 皇后陛下には五日東京盲啞學校及び女子大學校卒業式に行啓遊ばさるべき旨仰出されたり（東京電報）

◎元帥會議開會 三十一日元帥會議開會山縣公を始め各元帥出席軍旗親授の件及び軍隊精神教育に關する事項を審議せり（東京電報）

◎首相山公訪問 寺内首相は三十日山縣公を訪問せり（東京電報）

◎福田氏（豫審）有罪 埼玉縣憲政會公認候補者福田又一氏に係る選擧法違反事件は豫審終決し愈々有罪と決定せり（東京電報）

◎南獨革命と無線 最近著の寶山丸の無線電信に南獨に於て勃發せる革命黨の勢力擴大の旨感知せりと（敦賀電報）

◎革命と物價暴落 ガメリ地方にては革命後物價五割方暴落し麥粉其他穀物類の郡部よりの輸送は著しく增大せり（長春特電）

◎露貨相場高騰 露貨相場は五圓方騰貴し昨今百八十四圓を唱へ居れり（長春特電）

◎總督馬山出發 總督は在光公私立學校、慈惠醫院施療患者、高齡者、守備隊兵卒、警衛警察官憲兵に其々金員を寄贈せられたるより道學務係にては各學校生徒數に應じて分配すべしと

◎總督と大邱 長谷川總督は三十一日午前十時馬山府廳に於て官公吏會社銀行員府協議員學校組合會議員に接見後重砲兵大隊小學校を巡視し記念植樹を爲し同十一時五十分數千の見送りを受け大邱に向け出發せり（馬山特電）

巡視中なる長谷川總督は馬山より卅一日午後三時五分大邱驛著の特別列車にて來邱直ちに市内巡視の筈なりしも都合により豫定を變更し直ちに龍星旅館に投宿翌二日市内各官公署を巡視さるゝ筈なるが豫定順は▲午前九時より十時迄道廳［illegible］（大邱特電）

◎總督歸還期 南鮮地方巡視中なる長谷川總督一行は二日午前九時大邱出發、同日午後三時五十分京城驛著の旨神田秘書官より其の筋に電報ありたり

◎故李埈公御葬儀 兩陛下並に各宮家御代拜—陸海軍弔禮—儀仗兵は在京城步兵全部

▲勅使御差遣 故李埈公殿下御葬儀は四月五日と決定せられしは既報の如くなるが當日は同公邸及び祭儀所に勅使並に皇后宮御使御差遣御燒香せしめらる可き旨仰出されたり

▲兩陛下御下賜 天皇陛下には故李埈公殿下御葬儀祭資金として金一萬圓及び白絹五匹榊一對を皇后陛下には榊一對を御下賜相成る可き旨仰出されたり

▲各宮御代拜 故李埈公御葬儀當日には各宮十三家より總代として總督府部長等官を御代拜せしめらるゝこと〻相成りたり

▲儀仗兵被附 故李埈公殿下御葬儀の際は皇族の禮遇に依り特に儀仗兵として在京城步兵全部を附せらるゝ旨仰出されたり

▲陸海軍弔禮 故李埈公殿下御葬儀御執行に付きては皇族の禮遇に依り在朝鮮陸海軍に於て相當弔禮（大砲放發）を行ひ當日會葬の陸軍武官は正裝、海軍武官は正服（左腕に黒紗を纏ふ）を著用せしめらるゝ旨其筋より通報ありたり

▲文官貴族服裝 故李埈公殿下御葬儀參列の文官及び朝鮮貴族は大禮服、警察官は正裝（左腕に黒紗を纏ふ）を著用す可き旨其の筋より通報ありたり

▲東宮御寄贈品 故李埈公殿下御葬儀に對し皇太子殿下には銀餅一臺並に榊一對を御寄贈あらせらる可き旨其の筋に通報ありたり

▲首相翰長寄進 故李埈公御葬儀に對し内閣總理大臣寺内伯及び翰長兒玉伯より榊一對を寄進す可き旨通報ありたり

▲總督總監寄進 長谷川總督は故李埈公殿下の御葬儀に對し銀餅一臺及び榊一對山縣政務總監は銀餅一臺を寄進の事となれり

▲喪中御見舞 伏見宮、閑院宮、東伏見宮、梨本宮各殿下には李埈公妃に對し喪中御見舞として盛菓子各一臺宛御寄贈あり二十九日陶山通譯官之を傳達したり

◎來賓滯京日程 第五回日支聯絡會議記念祝賀會支那側出席者一同は四月一日午後七時三十分南大門驛著入京朝鮮ホテルに投宿し三日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の豫定なるが滯京中の日程左の如し

四月一日 入京朝鮮ホテルに投宿
四月二日 午前十時總督府訪問、十一時景福宮交通館觀覽、零時三十分總督邸午餐會臨席、午後二時三十分以降中央試驗所、昌德宮博物館等觀覽
四月三日 午前八時三十分退京

◎田村林學士來釜 帝國農科大學講師林學士田村剛氏は釜山府より釜山に於ける合同設計の委囑を受け之が調査の爲卅日午後九時三十分入港連絡船對馬丸にて來釜（釜山特電）

◎總督と木浦

▲紡織問題陳情 長谷川總督は商業會議所樓上に於て棉花標本に就き三原技師の說明を聽取し少憩中福田會頭は四十年に於て棉花移出高僅かに六萬五千圓に過ぎざりしが大正五年に於ては實に百二十萬圓に達する盛況にして尚ほ道長官次下の指導に依り一層增加せんとする機運にあるを以て年來の希望たる紡績工業に移るの必要を認め過般當地より代表者二名を東上せしめ資本家と會見し協議中なり既に會社設立の手續を了したれば幸に閣下の御高配を得度しと陳情したり

▲金員の寄贈 長谷川總督は二十八日市内巡視に先立ち橋本府尹の手を經て小學校簡易商業學校普通學校の生徒に對し金三百六十圓府内外七十歲以上の高齡者に對し賑恤の意味にて五十五圓を夫々寄贈せり（木浦）

▲光州と總督寄贈金 二十六七日全羅南道を巡視したる長谷川

◎露國々債上向 革命亂後露國各地の秩序は驚くべき速度にて恢復せられ民本政治の實現は民衆の歡喜大方ならず景況良好に從て露國公債は日に騰貴を見つゝある旨京城の或筋に入電ありたりと

◎京畿道米穀檢査 京畿道にては從來仁川等に於て施行せし米穀檢査を來る四月初旬より道直營にて實行の筈なりしが豫算の都合其他進行の關係上已むを得ず今暫く見合せとなり五月下旬には開始の運びに至るべきかと

◎精農組合に授賞 京畿道にては三十日東山農場の精農小作人組合に對し獎勵の目的を以て小作人組合三十九名及び精農婦人十二名に對し夫々賞與を授與せり即ち小作人組合に對しては其の成績精勵の度に應じて金員、耕牛、稻扱器、篩、唐箕の農具を、精農婦人に對しては一人に付き洋傘一本、晒木綿一疋宛を授與せり因に其の合計高金員八百十圓、耕牛七、稻扱器二百、篩二百、唐箕十一及び洋傘十二、晒木綿十二疋に上れりと

◎鮮銀の張宴 交通部長其他の招待 朝鮮銀行にては一日入京すべき支那交通部王次長外一行並に平井中山兩交通部顧問等二十六氏を主賓とし二日の夜花月樓上に盛宴を張る由なるが陪賓としては富支那總領事副領事並に通譯官、鐵道局の大屋長官、和田總務課長外各課長列席すべく銀行よりは三島大山兩理事阿部局長島雄熊野井上營業兩課長等列席の筈

◎忠清丸の就航 全羅丸代船 從來雄基下の關間の朝鮮郵船航路は支那航路就航船江原丸を充當しつゝありしが都合により四月四日釜山發北行便より元山浦鹽間自由航に就航しつゝある忠清丸をして當らしむる事となりたり

◎軍司令官檢閲 來邱中なる秋山軍司令官は卅日午前八時より步兵八十聯隊將校下士卒の檢閲を行ひ午後は營外に將校下士を招集し戰時勤務の視察を了せり（大邱）

◎隈部警務部長歸任 管内巡閲の爲め開城、江華、金浦等に出張中なりし京畿道警務部長隈部親信大佐は卅一日午後歸任す

◎木村理事東上 歸鮮中の木村鮮銀理事は一日午後七時五十分發列車にて東上の途に就き二日夜出帆の連絡船に乘込み四日東京著の豫定なりと

◎和田判事送別會 京城覆審法院判事より新義州支廳監督判事に榮轉したる和田四郎氏送別會は四月四日午後六時半より花月に於て開催すべしと

◎村井知至氏來京 外國語學校敎授にして英語界の權威たる同氏は大連奉天を經て四月三日朝南大門驛著入京西大門丹羽氏邸に投宿一兩日滯在す可しと

仁川

▲埠頭會社發起人會 埠頭會社發起人會は三十一日午後七時より仁川俱樂部に於て催さる可く席上和田書記長より阪神地方に於ける株式募集の經過及び成績の報告ある筈にて一般株の割當其他設立に關する諸般の協議を爲す由因に募集株は阪神地方及び下關に於て六千株船渠株は千株の應募ありたりと

▲苦力渡來激增 山東省苦力の渡來益々增加し三十日入港の伏見丸にて約五百二三十名の上陸ありたるが中百名は浦鹽へ其他は道内各地に向ひたり

▲判檢事新任 仁川支廳判事竹尾平山檢事の兩氏は轉任を命ぜられたるが其後任としては大邱地方法院安東支廳判事小野武太郎氏鎭南浦支廳檢事河村靜水の兩氏近く著任すべし

▲幼稚園入園式 仁川公立幼稚園にては四月二日入園式を擧行すべく入園兒童は三十八名なりと

平壤

▲平南道廳の植樹式 平南道廳に於ては四月三日神武天皇祭を卜し午前十時より瑞氣山上に於て植樹式を行ひ道長官臨席し司會者の式辭來賓の祝辭等を終へて六千本の植樹を爲す由

▲平安南道牛馬數 平安南道に於ける最近の統計に依れば牛は牡二萬一千五百四十二頭牝牛五萬六千六百六十八頭計七萬八千二百十頭馬は三千八百十三頭驢馬二千五百九頭騾馬は五百四十頭なり而してこれを前年度に比すれば牛は九百八十二頭馬は百四十一頭驢馬は七十六頭騾馬五十二頭等何れも增加したりと

▲安州農學校近況 平安南道公立安州農學校は本月二十七日卒業式を擧げたるが今回の卒業生は二十七名目下在校生三十五名なるが四月上旬更に五十名の生徒を入學せしむべしと尚今回の卒業生中八名は面長會技手に就職し其他は公立普通學校の代用教員に採用されたり

▲平壤尋常小學校長任命 平壤尋常小學校は先般竹並校長轉任後以來缺員なりしが三月二十九日を以て平安南道公立肅川普通學校長川添七次郎氏任命されたり

▲平壤府廳稅成績 平壤府に於ける大正五年度學校組合費調定額は三萬五千四百三十七圓七十四錢なるが二月末日の調査に依れば未納額四千六百七十圓七十八錢にして府稅調定額は七萬一千二百十九圓なるが二月末日に於ける未收額は六千百二十五圓なりと尚又國費の調定額は六萬九千九百九十九圓七十九錢なるが二月末日に於ける未收額は二千二百八十七圓三十二錢なりと尚三月末日に於ける滯納豫想高は何れも一千圓位にして納入の狀況前年に比し漸次良好に向ひつゝあり殊に大正五年度第一期より第三期に亘り滯納處分を爲したる者は府稅に於て一件國稅に於て二件なりと

▲平壤土地熱 近時平壤に於ける土地熱著しく昇騰し各銀行は從來擔保流れとなり居れる家屋及び宅地其他の土地等を賣却せんとし已に農工銀行の如きは大同郡南下面所在の水田を一斗落百二十圓臺にて賣却したりと傳へられ同地方は水田として全道第一の良田と稱せられ地價割合に高き所なるが一斗落百二十圓は非常の暴騰なりと噂せらる又平壤市内は南門町通の取擴を見越し容易に賣らざる模樣なりしが昨今地價昇騰の極度に達し何れも賣却せんとするもの如し已に南門町附近の鮮人住民にして此機會に宅地を高價に賣却し田舍の方に引越したるものも少からず

◎露國社會黨の平和運動 獨逸の同主義者に訴ふ 露國社會黨は今日の機會に於て獨逸の同主義者と戰爭終決に贊成せん事を訴へたり然れども今日の場合平和運動は到底望なし（倫敦電報）

◎露國陸相の戰線視察 露國陸軍大臣一行は戰線を歷訪中なるが到る處滿足すべき狀態なるを見出せり即ち住民は皆新政府に忠實にして兵士は最後の勝利を得る迄戰ふべしとの決意を示せり（倫敦電報）

◎假政府官憲の宣誓 政體は憲法會議の決定に依る 露國假政府の官憲は二十八日人民各自の權利自由を尊重すべき事及び將來の政體は憲法會議の決定に委すべき事を宣誓したり（倫敦電報）

◎支那の露政府承認 支那政府は二十九日露國新政府を承認せり（北京電報）

◎康梁の參戰問題論戰 康有爲氏は長文の意見書を北京政府に發して支那の聯合國加入に反對し梁啓超は之に反對し戰爭參加論を發表し互に論戰を上下しつゝあり（北京電報）

◎獨軍の撤退 要地サンカンタンより 白耳義方面も退却か 巴里來電＝獨軍は戰略上要地サンカンタンを撤退し更に其の後方村落を燒きつゝあり又復退却せんとするものゝ如し白耳義方面にてもゼブルツヂ、ブルーヂユ、ガントウフト市を破壞燒棄しつゝあり是亦其の邊より追々退却せんとするを暗示するものなり（倫敦電報）

◎獨宰相の改革切論 獨逸宰相ベトマン、ホルウヰツヒ氏は二十九日議會に於て政治改革の必要急なるを切論したり（紐育電報）

◎西班牙國内形勢不穩 西班牙憲法問題につき國論沸騰し國内の形勢頗る不穩に陷りたるを以て政府は首府マドリツト及び各地に戒嚴令を布きたり（紐育電報）

◎安東縣雜信

▲民團十週年記念 安東居留民團は本年九月一日を以て創立十週年に達するに依り今期民會に於て記念經費として金三千五百圓を支出する事に決定せるが當局にては來る五月一日の安東記念日に於て右記念會を擧行する計畫にて目下功勞者の表彰其他に就き調査中なるが近く重立ちたる官民を委員に選定して着々準備の步を進むる筈

▲柞蠶糸相場 米獨國交斷絶より續いて佛國の輸入制限實施の爲め一時五百五十兩を唱へたる當地の柞蠶絲相場は二十九日に至り俄然四百七十五兩に暴落し上海相場も五百八十兩より五百二十兩に引戾せりと

▲管理會豫算 安東官有財產管理會は二十八日午後委員會を開き大正六年度豫算案を附議せるが歲入出共金三萬七千五百五十五圓に決定せり而して本年中には經費約一千圓の豫算を以て安東神社境内北側の空地を利用して小公園の設備を施す由

▲市川旅團長 平壤駐箚旅團長市川少將は管内部隊巡視の途次二十九日新義州着龍巖館に投宿せり

人事消息

▲村田祈氏（三井金剛山鑛山主任） 三十一日朝退京
▲佐々木忠南第二部長 同上
▲加茂熊二氏（小野田セメント社員） 同上
▲田原道氏（忠南道技師） 二十九日夜退京
▲中川平十氏（米國シカゴ貿易商） 四月一日朝退京の筈
▲守川浦介氏（上海會社員） 同上
▲梁鎭泰氏（第三高等學校敎授） 西大門監獄官舍丹羽清次郎氏方滯在中
▲岩井長三郎氏（土木局技師） 二十九日歸任
▲野口次郎三氏（農務課技師） 同上
▲佐藤穗領事（哈爾賓駐在） 三十日夜内地に向け通過
▲井上主計氏（全北道事務官） 三十日朝入京山本旅館へ
▲岸勇一氏（元山府立醫院長） 三十日午後入京鄕本旅館へ
▲松本誠氏（仁川理事長） 三十日夜南大門驛より入京清光館へ
▲米國觀光團一行十六名 三十日夜入京朝鮮ホテルへ

逐鹿夜話

▲江間俊一君は東京市で運動中だが初めは馬車次は乘馬だつたが今度は運動員が尠ないので自轉車を乘り廻して居ると或る人が自轉車は『次點者』に通じて縁起が惡いぢやないかと云ふと『イヤ次點者に乘つて居るのだからビリで當選する吉兆サ』は江間氏

▲狹い處で選擧費用の最も多く要する處は鹿兒島縣の大島に及ぶものはなかろう大島で一度候補に立つた者は必ず家資分散の酷い目に遇ふ今度は政友會の林君に對抗して長島隆二君が追擊したが金が無ければ如何なる名士でも駄目だ同島では一方から一票二圓で約束して置て他の方から三圓の交渉があると二圓の方へは返して了まひ暗に高値の買手のある事を仄かす其處で双方から糶り上げさせて高値に渡すので一票五六圓から十四五圓になるそれぢや全く投票糶賣り

▲山形縣郡部の憲政會候補者關原猶里君は其の依賴狀に從五位勳四等と麗々しくやつたが宣言書や依賴狀に位階勳等を並べたてたのは恐らく君を以て嚆矢とするのだらうとの事

▲三重の憲政會の古猛者加賀卯之吉君の應援演說に赴いた森田義郎君が加賀君を賞ちぎると彌次が猛烈に飛び出したので森田君劣らず大喝一聲引出せと怒號したから堪らぬ聽衆も聲に應じて打ち殺せ〳〵と云ふ騷ぎ事あらば何時でも議會の演壇に飛上る癖の加賀君此の人氣を見てホロ〳〵淚を流して感激し自分の演說の番には感泣して聲が出なかつた相だ

▲痴遊伊藤仁太郎君の事務所へ禁酒會から貴下は酒を飲むか何うか飲まねば應援するとの手紙が舞ひ込んだ痴遊早速『既により禁酒し居れり』と返答して二ヤリ何が役に立つものか判らぬ

繪の如き京の春

莊嚴なる光養麿君の得度式

法統綿々たる眞宗大谷派本願寺にては四月一日宗祖大師誕生の當日を以て同派第二十四世たるべき光養麿君（本名光暢）の得度式を執行する由

■得度の式典 は大谷家御影前… [illegible] …夜中の儀式なりしに… [illegible]

■兩堂の勤行 をなし一般の参詣を許し二三兩日は饗應の儀もあり百萬の門徒は法悦に醉ふべし今回の式典は宗祖聖人が今より七百年の昔粟田口青蓮院の慈鎭和尚を師として得度せし以來次第相承の得度剃髪の古式古例にならひ擧行するものにて即ち

■將來の門跡 として次第… [illegible] …の身と定めらるゝ晴れの式典なり此式によりて初めて門跡法嗣となるものにて… [illegible] …目出度事なり。此の後の法主たる可き光養麿君は當法主大谷光演師の男系第一人の御嗣にして明治三十六年十月一日に誕生母は故三條實美公の第四女章子にて閑院宮妃智恵子殿下は叔母君に當らるゝより政子（二十）桑子（十七）の姉君あり。光養麿の生れし時

■父光演師は 喜悦のあまり『女郎花、女郎花さて男郎花』… [illegible] …と口誦し將來平民主義に教育せられ岡崎村別荘にありて三河國碧海郡… [illegible] …の住職太田祐慶師を教養係となし七歳より京都市内錦華小學校に通學三月を以て卒業せるが

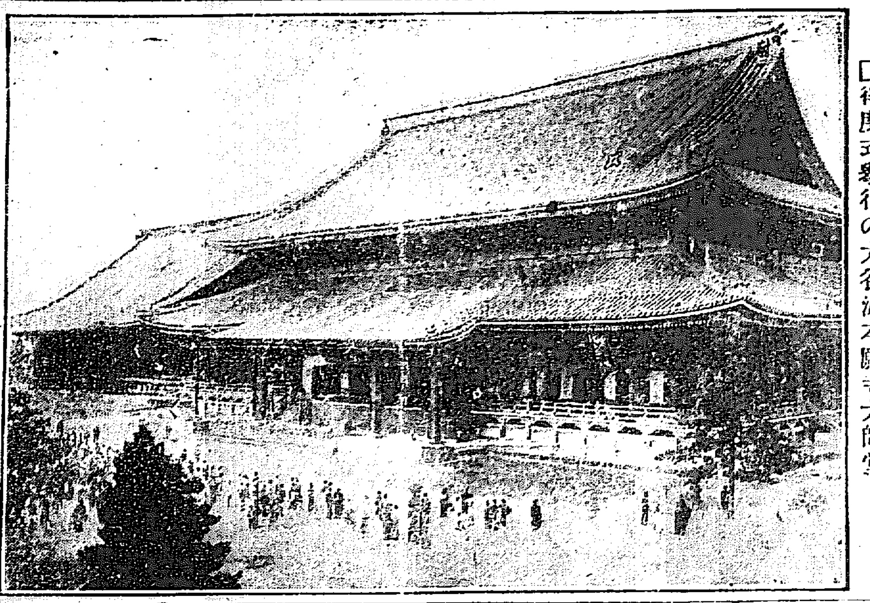
■學校の成績 好良にして… [illegible] …四月より京都中學に入學すといへり… [illegible]

■三十一日夜 より翌一日の朝まで夜を徹し一二三日間の夕刻より十二時まで焚くと云ふ篝火六萬地内の各町は祝賀の意を表するため各戸に旗球燈等をかゝげて町内を裝飾し三珠數屋町各戸には紅白の幔幕を張りめぐらし所々に緑門を設け二百五十燭の電燈を點すなど彩花を埋め春と共に咲き出でたる法の華

■東六條附近 の地を賑せり

■並に御禮を 受け、二日は午前八時より寢殿に於て僧俗共に饗應あり、三日は新法主は寢殿に於て大中學生の御禮をうけたる後大谷に參廟すと、又枳殼邸に於て出仕僧侶並に參列諸講手等の爲め園遊會を開き、同派兒童教育會にては眞宗大谷大學傳道部に協力して

■本山入廣間 に於て祝賀記念花祭の大會を催し千餘名の小兒隊は旗行列をなし、四日には末寺子弟の得度式を行ひ… [illegible]



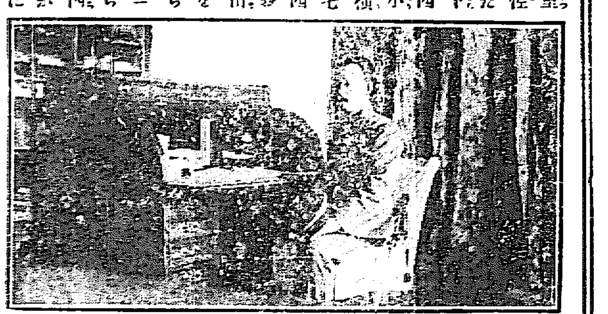
口得度式擧行の大谷派本願寺大師堂

而して得度式の儀は三月三十一日の午後内事局… [illegible]

◇朝鮮に七年居る◇

（佐藤軍醫監のおよろこび）

龍山衛戍司令部の軍醫部長室に新らしく軍醫監となつた佐藤恒丸閣下はピカ／＼した正裝のおよろこび。喉の下の勲三等瑞寶章から、功四級金鵄勲章、勲四等旭日小綬章などがズラリと胸に横隊で並んで居る。其處へ七十八聯隊の軍醫さん達が四五人からんで直立不動のおよろこび、卓子の上にもほどの手紙が閣下の陞進を祝して居る。閣下は相變らず貴公子のやうな風姿でニコ／＼しながら『東京から二十九日に歸つた。寺内閣下にもお目にかゝつたが相變らずお達者です。なに森鷗外先生か、先生にも逢つたがこのごろは主に夜間に執筆して晝間は外出するといふのはなしであつた。——サア何んなことに歩かれるか其處までは訊かなかつた——なに衛戍病院長として龍山に來てからか、お恥かしいがモウ七年ばかりにもなら〻…それにこのうち廣島の早川軍醫正から手紙が來たがね、耶馬溪なども龍山と較べてはおはなしにならぬといふとだ……』其處へまたお慶びの人が這入つて來る。因に博士は四月上旬また東上する。趣味は文學で就中獨逸文學に造詣が深い。



不逞鮮人首魁就縛

同志を糾合して總司令官となる　晋堂教師となつて數年間流轉す

國權回復の幻影を趁ひ擧兵を夢みつゝ窃かに不逞事件を劃策しつゝありし暴徒の首魁鮮人安鍾奭（三〇）は三月三日咸鏡北道茂山附近に於て官憲派遣員の手に逮捕され茂山憲兵分隊に於て取調の結果三月十五日清津憲兵隊檢事局分局に送致されたり安鍾奭は忠北大興郡二南面加德里の生れ明治四十一年四月頃鮮内に於ける官憲の施設を喜ばず

◇當時出稼の目的を以て浦鹽に渡り流暢附近に普通教師として同地附近在住の不逞鮮人首魁柳麟錫、李範允、呉周赫等の組織せる國民會に入會し同四十三年八月同會總裁柳麟錫の命に依り密使として元山に來航し鮮内に於ける日本官憲の實狀並に之に對する鮮人の傾向等により

◇國權回復の陰謀を實現するの到底不可能に屬するを觀破して再び浦鹽に歸るや右同會は遂に官憲の爲め解散を命ぜられ又會員の一部は逮捕されたるより畢竟日露官憲交渉の結果事之に及ぶものなりとして窃々不逞事件劃策の念慮を固め其後五箇年間

◇露支國境及び間島等に流轉し大正二年頃より間島局子街孔教會に入會して會員となり各地に布教中元鮮帥會員なりし李範允の部下李鉄林、張昊敦、金永澤等に圖らずも邂逅し茲に又復孔德會員中閻增植等と相倪等と國權回復の密議を爲し私かに時機の到來を待ちつゝありたるが而して

◇大正四年七月上旬 安は孔德教會布教の爲め支那吉林省安寧縣高安村に赴き閻增植と會し茲に擧兵の陰謀を企て高安村の南方十九里三石峴に根據地を定め最も大なる不逞撤文を四方に飛ばし同年陰曆九月下旬に至り

▽愈具體化せんとし同志八十名を糾合し小銃五十挺拳銃三挺彈藥七千五百發を準備し之等同志は附近在住鮮人會員協力を根據にし附近民家を强請して金品食糧を收集し一面又家屋を建築して之を彰義所と命名し彰義所を設け加入者をして誓約の書に署名せしめ其總司令官參謀監等は左の如し

◆彰義所幹部▲司令官安鍾奭（四五）忠淸南道生▲參謀官李甫夏（四四）京城生▲參謀官金永澤（二八）慶北生▲中隊長韓相俊（四二）江原道生▲參謀長兼書記李慧植（四〇）黄海道生▲第一小隊長李起林（同上）慶南生▲第二小隊長張鳳數（同上）江原道▲下士洪德信（同上）京畿道生▲下士金永澤（同上）慶南生

以上の如く彰義所の自ら總司令官となりて任じ豆滿江附近に轉進し大正四年舊十月一日配下七十名を率ひて横行中スペチャンに於て

◇露國騎兵と衝突し て銃火を交ゆるに至り茲に大敗して配下三十名となりしより已むなく今後の行動上琿春地方に勢力ある黄雨吉と連絡の必要あり配下の監督を李起林に託し李惠植一人を隨へ煙禿拉子に向け旅行不在中李起林は配下の所有銃器全部を同地西方約二里餘の太平溝元暴徒首領呉周赫宅に運搬し李は呉と共謀し

◇安鍾奭を排斥する に至り一方又安は配下の内訌の爲め成らず再び高來間島に入り又は晋堂教師となり或は雜貨商となり露領又は間島各地に轉々流浪しながら將來擧兵の安穩を擬きたりたるものなりと

實子を縛つて餓死せしむ

全北高敞郡大山面梅山里金昌錫（三□）は長男金弘奎（五）を伴れて乞食をなし各所を徘徊しゐたりしが足手まといとなり養育に窮する所より二月八日大山面四街店市場附近の山中に伴れ行き弘奎の兩足を縛して放置し遂に餓死せしめたるが三月四日其屍體發見され犯人嚴探中金く昌錫の所爲なること判明し大山面梅山里金士淳方に潜伏中を三月二十日高敞警察署の手に逮捕され取調べの上檢事局へ送られたり

宗雄は懲役十二年

一萬圓强盗判決＝多分服罪せん

朝鮮銀行日本貨幣一萬圓を强奪せる島内宗雄に對する判決は三十一日午後零時三十分釜山地方法院にて宣告の求刑通り懲役十二年の言渡あり同人も前非を後悔し控訴せず服役を覺悟せるもの〻如し（釜山特電）

迷信から實兒を撲殺す

江原道金化郡金城面金享弼は實兒金相弼が精神に異狀を來しあらぬことなど口走るより鬼神に取憑かれたるものならんと思ひ三月十五日より桃の木の枝を以て撲れば厄病神が退出すべしといふ浮説を信じ桃の枝を以て撲り通し遂に死に至らしめたること發覺し享弼は其後金化憲兵分隊に檢擧せられ京城地方法院檢事局に送られたり

浴衣掛の曲者

主家の金で豪遊

京城蓬萊町四丁目某酒造場雇人金根旗（二□）は内地語の巧みなるより常に内地風を裝ひ居れるが三月十九日夜主家の現金四十三圓を窃取し同時李選ばずに浴衣掛けにて龍山彌生遊廓に登樓し豪遊中を龍山分隊の憲兵に探知され引致取調べの上窃盗罪として檢事局へ送られたり

蓬萊町の出火

三十一日午前二時五十分頃京城蓬萊町一丁目百二十九番地紙商李徹漢方より發火したるより常備義勇等の消防組出動同家一棟を半焼したるのみにて同二十分鎮火せり商品の紙類多數を燒失したる爲め損害割合多かるべく殊に油紙のこととて消防に困難を感じたり原因は本町警察署にて取調中

嬰兒殺し

全北錦山郡錦山面上玉里梁在洙長女梁順愛（一九）は十四歳の時南二面済川里黄順成に嫁し其後舅より排まれたるが原因にて家庭不和となり昨年六月中姙娠の儘離婚して更に同年十二月同面金川里金鳳德に轉嫁したるも身重の爲め本年一月中實家に歸り實母朴姓女（六□）と共謀の上三月七日午前九時頃分娩したる嬰兒を殺害したること此程發覺し母子兩名は錦山憲兵分隊に逮捕され取調べの上檢事局へ送られたり

新學期通學區域

●小學校の新設開始に由り其の通學區域に變動を來せしは日乃出、櫻井及び… [illegible]

▲東大門 … [illegible]

▲日の出小學校 永樂町一、二、三、四丁目、若草町、日の出町、南山町一、二、三丁目、倭城臺、大和町其他

▲南大門小學校 本町一、二、三、南大門通一、二、三、四、旭町、蓬萊町、吉野町

▲西大門小學校 長谷川町、北米倉町、西大門其他

▲東大門小學校 黄金町、初音町、並木町等

▲龍山小學校 … [illegible]

●連絡船上陸客 三月三十日午前九時二十分釜山入港壹岐丸一二等客 … [illegible] 三月三十日午後九時三十分入港對馬丸 … [illegible]

讀者文藝

（一等には五十錢の圖書切手を呈す）

△物は付「氣の濟まぬ物は」　京城旭町二丁目　辰司

○女房が取た袖の下（一等）　沙里院　頓突坊

▲人垣の中の物見届けぬ内　京城　神崎白榮夫

▲他人の掃除を見た潔癖家　京城　朝鮮坊

▲商にはさかつた物　龍山　小林只一

▲下手な理髪

▲芝居の見殘り　釜山　近眼生

●課題及び募集規定 … [illegible]

●懸賞募集規程 … [illegible]

天氣　晴れ時々曇り

商況

債券現物特電

（三十一日東京）[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●綿糸高綿布持合　現物五十錢高綿布は持合… [illegible]

●銀價反撥　一圓十錢方騰… [illegible]

●内地製粉大持合… [illegible]

●地少を看取　最早粉價の下餘… [illegible]

●會社側の態度… [illegible]

●牛皮の其後　ヂリ々不勢を報… [illegible]

●撫順炭愈々値上　五十錢方… [illegible]

●露國軍靴七十萬足授受の事に決定… [illegible]

●浦鹽鰊初荷… [illegible]

●近來浦港附近に及び八十個許の入荷… [illegible]

●内外海產不振… [illegible]

●傳へられた浦鹽豊漁の由… [illegible]

●木炭小賣値區々… [illegible]

●全南新若布出廻の先驅… [illegible]

●閏月の鹽不振… [illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

[illegible]

市場零聞

▲實米壓迫の威力 [illegible]

仁川米豆取引所

三十一日の五月限 [illegible]

北濱だより

▲郵船株 [illegible]

期米　仁川米豆取引所仲買人　齋藤宗之助

（マ）廣澤正次郎　迅速確實（定期米賣買案内）仁川米豆取引所仲買人

救はるゝ無告の孤兒(二)
―退院後は潔き信仰生活に入る―
仁川佛教慈善會內孤兒院に收容された五十の女兒の悲劇の斷片

孤兒院に收容さるゝ兒として何れも悲慘で無い者はないが五十名に近い孤兒の中には昨年の夏虎列拉の流行した際可惜兩親を喪ふた朴と云ふ二歲と六歲になる姉妹の如きは悲慘中の悲慘で兩親の死目にも遭へねば誰一人として顧みて吳れる者も無し

二日間も物々しい警戒線の中で父戀し
父戀しと泣き悲んで居たのを見た者で可憐にも六歲になる姉は未だに母の名を夢の中に呼ぶ事もある相である更らに非道い孤兒になると同盜の胤を宿した婦人が分娩すると同時に世間に對して面目ないとて嬰兒を遺して井戸に投身すると後に殘つた老母が發狂して嬰兒を壓殺せんとする處を隣家の人に發見されて危く一命を取り止めたなどゝ言ふ者もあり

姦婦姦夫が本婦を毒殺して二人共死刑に
處せられて三つになる兒が一人殘つたのを收容したなどもあるが此等は何れも極端の例で其他の孤兒は大抵基督教信者や牧師の居宅の門內に棄てられた兒童や極貧に迫られて收容方を願出でた者などが其の大半を占めて居る斯樣に何れを聞いても涙を誘はれぬ者の無い樣な不幸の月日の下に生れ來た孤兒は此處に收容されて如何にして成長して行くかと言ふに日夕淨い修女達の溫かい情と

嚴かな祈禱に依つて神の恩寵を豐かに被
りつゝ婦女としての職業を習得して居るのであるから惡い誕生の僥倖を得て上滑りの人生觀に囚はれて居る者よりも確信ある鞏固な信仰生活と深刻な人生觀を得らるゝ理で或意味から言へば幸福であるかも知れない孤兒の內で相當の年輩になると信者の中に良緣を求めて結婚させるのであるが其の結果は非常に宜しく退院後と謂へ共決して信仰生活を破らない許りか

自分が孤兒であつたと言ふ悲哀と遜讓と
は神の前に謙遜にして貞操を守らせしめ得るから信者として極めて善良な者になり得るのであると同時に同孤兒院では男の孤兒は收容せない事になつて居るが此れは男の子は十六七ともなれば必ず何れにか逃走して不良少年となるからだと謂てゐた

◇不思議な流行病
平康附近に於て近頃不思議の病氣發生し罹病者續々現はれつゝあり同病は風邪と變り無き徵候にて時を定めず四十度近くの發熱を示し殊に日を經るに從つて血を吐き臍を下す等の現象を示し非常に苦しみを催す由なるが目下之れが爲め死亡せし者は無きも一家八人全部罹病せしものあり或は一種の傳染性を有する惡疾にあらずやと研究中なりとす

春は海に
銀眞砂の濱に一日の行樂

春の日は麗らかに輝やいて磯の眞砂を洗ふ汐も軟く小波揺いで人の心はだん〳〵海へ〳〵と牽かれて行く、內地では三月の初旬から

▲磯の匂ひに春心 を唆られつゝ汐干狩の行樂を恣まゝにする人が出來るが朝鮮では昨今漸く春の日は照々と輝き渡つて鮮人の白衣も美しい銀眞砂の濱が晴々しい氣分を引き立てる樣になつて

▲汐干狩の季節 に入つた事を感じさせる、そよ風も無い初午の午後あたり東山麓を越ねて龍里亭附近の干潟に訪づれる者もあり龍拂けて萬石町の海岸に漁る人なども尠くはなかつた殊に

▲萬石町海岸 には無數の鮮人が貝を掘つては市に鬻ぐ爲めに非常の賑はひを呈して內地人なども腰揚高など赤い湯卷も露はにして貝漁る者もあり四方の景色を眺め乍ら辨當開く者などもあつて海の仁川は漸く春の海に懷しまれる樣になつた

◎カピリア梗槪

▲エトナ山大噴火 エトナ山の麓カタニアの町に大きな邸を持つて居た貴族のバドゥは牧場から歸つて來てエトナ山を眺めつゝ愛らしい妻や一子カピリアに牧場の羊の話を聞かせた其夜エトナ山は大噴火した

▲カルタロ大僧正 其時僅か五歲のカピリアは乳母のクレッサに助けられて下僕の者共と一緒に漸と海岸迄逃げ延びた頃にはバドゥの邸も初め町中は悉く崩壞された、下僕の者共は海岸にあつた一艘の小船を忌しきフエニキアの海賊船とも知らずに是れ神の助けと打喜び乘込み遂には海賊の掠奪にカルタゴの都へ運れて行かれ人買りの手に渡され大僧正カルタロにモロックの神の捧げものにすべき犧牲として哀れカピリアは乳母のクレッサ諸共に買ひ取られた

▲カピリアの救 やがて犧牲の日は來た半ば狂へる乳母のクレッサはカピリアを救ひたさの一念からして大僧正を欺かんとした罪を得て怒りに觸れ半死の姿にまでせられたが逃げ延びる途中內海岸の叢藪にて窓外にも二人のローマ人に遭つた、直ちにカピリアに對する救ひを乞ふた一人は隣國の一少女を痛ましき死から救ふ可く直ちに是が引き受けた然も其の一人はローマ貴族の血を受けたる武士アルビオスで他の一人は彼の從者でマチステと喚び丈夫なる筋骨逞ましき狠つくばかりの巨漢であつた三人はモロックの大聖殿の方へ急いだ今しも大聖殿では幾多の犧牲を屠る式は初められ大僧正の重々しい調子で祭詞をとなへた群衆のドヨメキは一段と高くなつた見る〳〵內に一人二人三人四人――嗚呼哀れ淸淨なる幼き犧牲等は

▲怪僧の火渦卷裡 の體內へとなげ込まれる、カピリア―カピリア―狂氣の如くクレッサは大僧正の方を指して叫んだ、カピリアの番です、大僧正の手には今や焔々燃ゆる猛火の內へなげ込まんとするカピリアは捧げられつゝあつた、フルビオスはマチステを促し祭壇に躍り上りカピリアを奪ひ取るや一目散に逃げ出した そして綺猿酒場の窖へ無事に逃げ延びる事を得た然しながら乳母のクレッサは逃げ遅れて惡民の手に哀れ異境の露と消えた

▲アルプス越 カルタゴの名刀とも云ふべきハンニバル將軍は大軍を率ひてアルプス越ひの冒險を敢てした、日頃から沈着を誇るローマ民族も是の噂ばかりは流石に驚き初めた、やがてハンニバルの勝報は傳へられたカルタゴ民族の得意は其絶頂に達した、終日酒場の二階にのみ隱れてゐたりしフルビオス、マチステ兩人は是の話を聞いて祖國の難に赴くべくカピリアを遁れ夜ひそかに月の明りをたよりにカルタゴの町から逃げ出した、そのときマチステはカピリアを抱きたるまゝカルタゴ兵の爲に取りまかれた

▲ソフオニスバ姬 カルタゴ總督の姬君ソフオニスバは北の蠻人王マシニサと今や月の下にひそかに語らひつゝある處へカルタゴ兵に追はれ逃げ來りし巨漢マチステの手より『救つてやつて下さい』の言葉諸共に投げ出されしカピリアは其侭受取つて自分の居間へ逃げ込んだ、斯てカピリアは無事なる身を得た されどマチステは遂に囚はれの身となつた

▲羅馬艦隊全滅 ローマ軍はマルチエロスを將としてカルタゴと同盟を結べるシシリ島にある小國シラクースを攻擊した先に國から出征した、然るに小國シラクースの理學者アキメデスは不思議なる凸鏡により日光を利用し押し寄せ來るローマの大艦隊を一艘も殘すことなく燒き盡してしまつた是の敗戰より漸く一命を持つて逃れたフルビオスは或る岸邊に流れ着き是も窓外にもカピリアの父バドゥに救はるゝ事となつた不思議なる緣に物語りはカピリアの身の上にうつり猶き且寄ふ夫婦の者はフルビオスを大切に世話したフルビオスは別れに臨んで彼の愛らしきカピリアを必ず兩親の手元にもどる樣盡力すると誓ふた（つゞく）

◎陳列館開館期
仁川商業會議所內に於ける商品陳列館は本年一月頃開館の豫定であつたが稀有の嚴寒の爲めに延期し其後各出陳希望者に向け出品を督促し此程に至り大半取揃へを終つた爲め二十九日から陳列準備に取かゝつた、開館は四月二日頃からの筈であるが全部の爲めに多少の時日を要す可く品目の重なる者は酒、醬油、朝鮮飴、人參、高麗燒、家具、履物、仁川に於て製せらるゝ工業品である

◎慰問會へ寄附
聯合國傷病兵慰問會の趣旨を賛し龍山西本願寺婦人法話會は金十圓を京城ボーロー婦人會は金五圓を何れも愛國婦人會朝鮮本部を介して同會に寄附したり又京城ホテル中隊長大人は同會慈善演藝會喫茶店に金十圓を寄附せり

◎平壤高女入學試驗
平壤公立高等女學校にては本年の志願者六十餘名に達し募集人員五十名に對し十名超過したれば四月一日入學試驗を執行すべしと、蓋し同校の入學試驗は之を以て嚆矢となす

◎栗原學士講演
四月一日午後二時より南大門通り一丁目京城青年會に於て第三高等學校敎授文學士栗原基氏の入京を機として左の講話ある由

實生活の基礎　丹羽淸次郎
青年と性慾　栗原基

◎實業青年會講話
二日午後七時半より銀行俱樂部に於て京城青年會主催第二回實業青年講和會を開催餘興として浪花節講談等あり演題次の如し

▲開會の主旨　丹羽淸次郎 ▲在留實業家青年に望む　第三高等學校敎授栗原基氏 ▲青年實業家の覺悟　東拓會社理事高綱柳吉氏

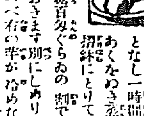
◎三人組
慶北安東郡豐南面河回洞雜貨商金尙安方へ廿三日午前三時頃三人組の強盜押入り主人金を縛したる上小刀を以て脅迫し金品八十七圓三十錢を強奪して逃走せり

♣流行のネルとセル
セルと云ひますと昨年頃までは立縞もので、色は紺か鼠に限られて居ましたが、今年はガラリと一變して鐵色グリーンか

◆新柄のものが歡ばれ 縞物と格子物 が勢力を得て參り、殊に中柄もの、小柄ものには格子が八分通りを占めて居ります、縦に組糸を織り込んだ御召セルは一寸見ると、縮んで居て御召そつくりの上品なもおつかす御召そつくりの上品なものですが、これには鼠つぽい色もあり淺い立縞や格子などいろ〳〵な織方がしてあります。以上は重に婦人向の柄ですが男子方のになりますと、三色杢糸を織り込んだ縦縞格子縞に細かいものもあり、

◆セルは粗い柄の流行 ネルは紺地の縞物が歡ばれて居る、これから暑くなるにつれて最も歡迎さるゝもの、セルと同樣の傾向で御座いますが、色は大體に黑つぽいもの英ネルも又、縞染めものゝ方がよいやうです、格子よりもぼかし染や縞などが流行して居ます。セルとネルで御座いますが、色は大體に黑つぽいもの……是は何方か多く活用されるかと云ふに一兩年この方はセル七分、ネル三分と云ふ商行きですが、これは一般に服裝が華美に向いて來たからであります

神社とお寺と教會
◎水下洞同窓會 水下洞公立普通學校にては一日午後一時より同校に於て同窓會を開く由
◎西本願寺（若草町）一日午前九時より日曜學校午後八時より說教會あり
◎東本願寺（南山町）三十一日午後七時より土曜講話あり [illegible]
◎救世軍集會 三十一日午後七時四十五分より本町三丁目三十銀行前にて「天に寶を貯ふべし」[illegible]
◎妙心寺 [illegible]
◎京城日本基督教會（長谷川町）四月一日 [illegible]
◎日本メソヂスト京城教會（旭町二）一日午前九時十五分日曜學校進級式擧行、同十一時 [illegible]
◎聖公會（南米倉町）一日午前十一時 [illegible]
◎京城日本基督教會（長谷川町）一日午前九時より日曜學校、同十時『凱旋の王』[illegible]
◎京城基督教會（南米倉町）一日午前九時より日曜學校 [illegible]
◎開教院（本町三）一日午前九時より日曜學校あり [illegible]
◎曹洞宗別院（若草町）一日午前九時より日曜學校あり [illegible]
◎本能寺（水標通）二日午後八時より定期法話あり



▲薩摩芋の羊羹 薩摩芋の皮をむいて一時間程水にひたして灰汁をぬき蒸器に入れて蒸しかなりやはらかになつたら熱いうちに裏漉しにかけ[illegible]砂糖を加へて更によく擂り[illegible]

一 演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
三月三十日より特別大興行 舊劇『佐々成政の傳』[illegible] 軍事大活劇『ロロー』[illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
東京大阪落語若手揃大一座來る ▲每夜午後六時開演 演題△浦島（二勝）△羽織女郎買、曲手踊△三府浮世節（新朝）池田猪買（歌女）△危險術、道樂（右朝）△落語（圓輔）△天女音頭 [illegible]

壽館 京城壽町 電話一〇三 [illegible] 浪花節界の横綱京山愛子孃來る [illegible]

初日滿員御禮
舊劇 佐々成政の傳
軍事活劇 第五決濱 ロロー
實事悲哀の後 衣が浦の仇浪
涙の海と化したる 大正館

有樂館 京城本町一丁目 [illegible] 開館第二次特別大興行 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 [illegible]

內外科 小兒科 花柳病科 入院隨意 安東病院 京城長谷川町 電話七三番

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北）電話六三九番

右弊店儀從來旭町二丁目に於て飲食店營業罷在候處御客樣方の御引立に依り今般飲食店を廢し前記梅花上に引移り料理店組合に加入の上本日より開業仕候に就ては御客樣方の御便利を計り精々勉強可致候間何卒不相變舊の御愛顧御引立の程伏而奉希上候 敬白

開業御披露 會席御料理並に仕出し 竹廼家 京城南山町二丁目四十五番地（梅花上）電話二一六三番

鐵道 拂下服類一切 夏服 上等特等組 金一圓八十錢 中等下等同 金一圓四十錢 セル地 同 金七十錢 其他色々有之候多少に不拘御用命有之候 平壤府廳拂下貨物 製型 平壤府 大和町 **山中商店**

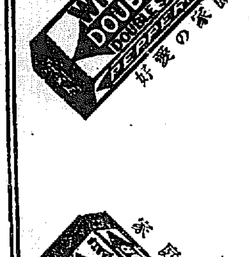
京城料理店組合 前記の通り時間料改正に付四月一日より實行致し候間謹告仕候也

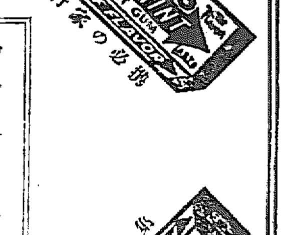
謹告 今般其筋の認可を受け來る四月一日より藝妓系代左記の通り改正仕り候間此段謹告仕候也
一、九花 一本 金九十錢
一、半花 一本 金七十錢
一、宴會花一仕切（四本）金三圓六十錢
中券番 新檢番 京城券番

良職業あり 高尙有利の事業なり今回大に地方支部長を募集す返信料三錢至急申込む可し直に採用し規定書を送る 東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 帝國法律普及會

◎花見と胃 花を見て樂しく非常を召し食れば胃の消化を良くするの神經的作用がありますが餘り飲み過ぎ喰ひ過ぎては、二日醉食傷等にて胃腸を害することがあります、斯る場合には陸海軍醫の合議製藥評判の「胃活」を御用ひあれ

定價 胃活一圓、六十五錢、四十五錢 （胃活錠）二圓、壹圓、五十錢、廿錢 請賣全國到る所の各藥店にあり 本舖 東京・大阪 山田安民藥房





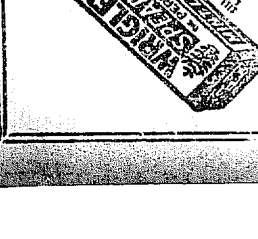
米國リグレー會社
總代理店

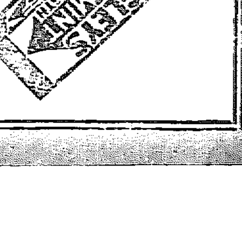
長く噛んで居れば美味で淸涼の甘露いつまでも噛む程淺々として盡きず

チーウーイーンーガーム

消化を助け口中を淸涼にし渴を醫し齒を强壯にす……

京城貞洞二十五番地
ジヨジ.アール.アーレン商會
長電話二九三八番・私書函九番





◇新學期兒童通學區域を示せば左の如し
▲日出小學校 本町四、五、旭町一、二、三 ▲南大門小學校 … 花園町、黃金町其他 ▲鍾路小學校 明治町一、二、南大門、黃金町一、二 ▲元町小學校 元町一、二、三、四、青葉町一、二、三、京町、榮町、錦町、大島町其他

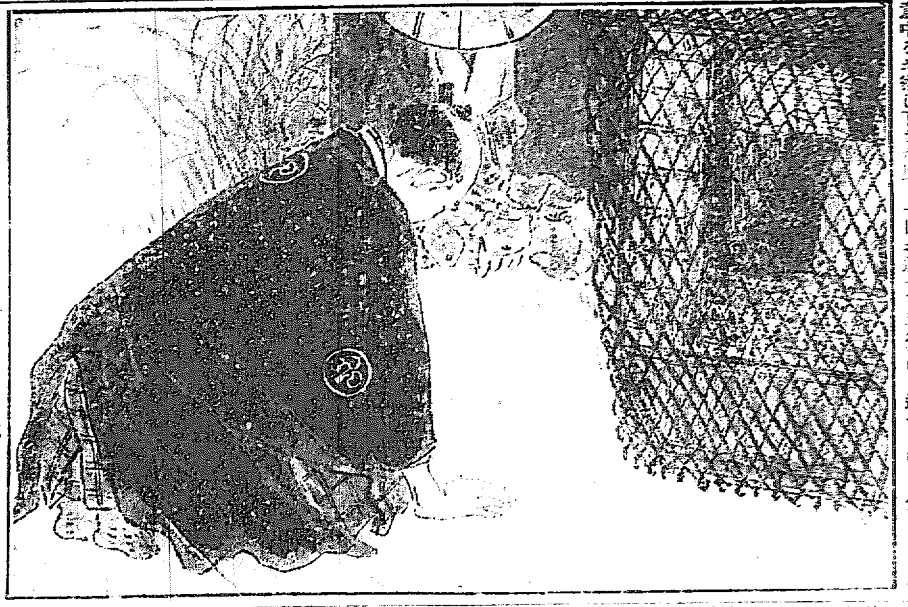
▲本誌に投書者に告ぐ 何書何號と明記に限る 宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

明君道中記

第百二節 田邊南龍口演

本多上野介は大地へ兩手を仕へ『上様にも御存知の通り拙者事は駿河大納言殿未だ御幼年の砌國松君と申し上げし其の節より御傅役を仰せ付けられ御養育をいたしたる者、然るに忠長公一朝御心得違ひを遊ばして、國郡は改易となり上州へ配流、殊に此度高崎へ御預け代と相成つては、御存生中には御目通りは相叶はず、何卒貴君の御仁恵を以つて上野介の衷中を御察し下され度、一目お逢ひを

ぼう〳〵と生へて衰へたる髪に、上野介はハラ〳〵と涙にくれて何んの言葉もござりません、忠長侯御覧になつて『右京進其方の心入りは忠長嬉しく思ふぞ』上野介『ハ、』忠長『コレ家名は亡取、此身は預けとなりて心侭の遊びもいたした下の者には無礼をかけ誠に氣の毒な事である、最早天下の罪人となれば其方等にも逢へまいと思ひしに右京



下さらば忝なく、此儀を願ひ上げます』と聞いて右京進重長は暫し黙然として居りましたが稍あつて、面を上げ右『天下の罪人を私の計ひを以つて主従の對面を致させたとあつては公儀に對して恐れある、然れど共許が一生の願ひを背くは無氣の至り、人は眞義を以つて交はるとあるから重長が家身代て承知をいたした』上野介是を聞いて頭を下げ『上様にも慈け厚き貴君の御計ひ、此御恩は世々代々忘却はいたしません』と喜びの涙にくれて居るうちに右京進重長は乘物の傍に參り突然青網を外し、蝦錠を捌ひ戸を排く同時に上野介はれへ進み、乘物の中を見上げると忠長侯は永らくの間蟄居致せし身とて顔の色も蒼白、頬はこけ眼は凹み

進が慈けにて其方に逢ふこそ嬉しけれ、いぞよ上『ハ、』忠『最早近き中には予は死を賜はる身であるが其方は無事に暮せよ』と仰せを受けた時に上野介も何をか申し上げる覺悟であつたが胸は塞がり聲も出ず只々涙にくれて下差俯向て居りまする忠『最早其方に逢ふた上は思ひ置く事は更にない、然し一言を申して置くが今度の事は如何にも殘念であつた、上野介予が心中を察してくれい』上『ハ』忠『一時刻延びては右京の迷惑、さ

らば是にて別れるぞ』と自から乘物の戸に手をかけハタと締め切つて『サア乘物を上げよ』『ハッ、』家來は直に忠長侯の乘物を舁ぎ出します、右京進も上野介に別れを告げて乘物の後につき、急いで高崎の城内を指して參りまする、お乘物の見えなくなるまでも延び上つて見送つて居りましたる上野介最早是非なく、なつたからその儘にして野州の宇都宮を指して立歸りましたが、上野介は心の中に此上は何卒して折あらば將軍家を恨み奉り、駿河大納言殿を以つて御代の主君にしてくれん、善悪共に其の心に思ふのが宇都宮の宿であると覺悟いたし、その機を伺つて居りましたが、其中に江戸詰となつて正純は江戸の邸に居りました、時は寛永の十年四月十七日、三代將軍家が日光御社參と云ふ事になり、それが前年の十月に仰せ渡されその時には野州宇都宮へお泊りになると云ふ事に定りましたので、これを承つて本多上野介は小躍りをして喜び、待てば海路の日和とやら、願ふてもなき今度の時機此の折を失はずして將軍家を害し奉り家を捨て身を捨ても我思ひを果さねば相成らんと思ひましたが然し斯る大業な事であるから己れ一人では出來ません

泌尿科 婦人科 外科一般 皮膚科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會前
安部醫院
電話四一九番

泌尿科 婦人科
醫學士 二宮莞吉
京城壽町四一
二宮醫院
電話一三〇一番

京喜屋 吳服
京城本町一丁目 出張店
電話一九六

四月二日 九星 本命五黄八方塞年

太田胃散
胃病良藥
飲過ぎ食過ぎに妙なり
一貼十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舗 東京吳服町 太田信義藥房
全國到る處の藥店に販賣す

朝鮮總督府許可
人參エキス
内用精能 外用精能
人參進出販賣所
津村兄弟商會
京城本町一丁目

大口質 迅速
京城黄金町長橋町入口 電話二九六番
商品擔保便利取扱
田村質店

松田式ポンプ
灌漑用

家庭用

ポンプ
御申越次第目錄進呈
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目
釘本藤次郎商店
電話四五番二七七四番 振替京城二五六番

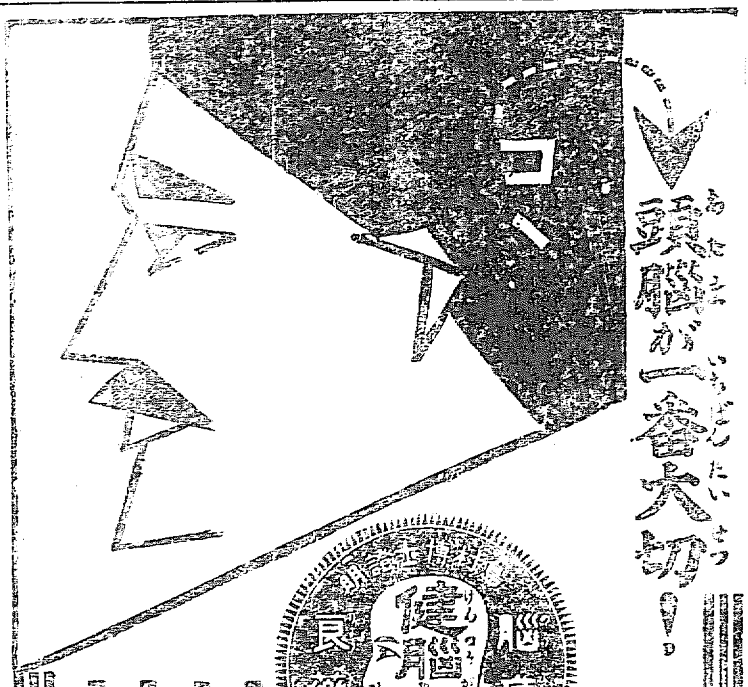
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一二番）
支配人 西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
發賣元 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

學校用品荷揃ひ 文具店

朝鮮官民必備寶典 最新刊
東京巖松堂書店編輯部編
朝鮮六法全書 全一冊
定價金一圓八十錢 送料金二十三錢
四六版 總布上製 製本堅牢 七百餘頁
賣捌所 京城日報社代理部
京城太平町 振替京城三〇〇番

ゴン、
頭腦が一番大切！

注意せよ。腦神經病者諸君
服めば服む程頭腦が良くなる
腦病良藥 健腦丸
今日より服用あれ!!
大酒家、喫烟家、逆上症、頭痛持、便秘、健忘、不眠症、腦を過勞する人々。
健腦丸を少時常用せば頭痛、逆上、耳鳴、便秘、不眠の各症を治し、頭腦を明快にし記憶力を増進し、腦充血を治し怖る可き中風、卒中、を未發に防ぐの特効あり 一週分を先試よ。
（價）半週分四十錢 一週分七十錢 二週分一圓三十錢 三週分一圓八十錢 五週分二圓八十錢 十週分五圓
本舗 大阪心齋橋 東京新肴町 丹平商會藥房
全國各地の各藥店に取次す

一度親めば忘る、事の出來ない この美味！この滋養!!
誰人も召し上れ──!
美味滋養 蜂印香竄葡萄酒
朝夕飲用せば一生涯健全なり
東京日本橋 近藤利兵衛

蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を主成分として滋養補血劑を配合せる品なり 毎朝夕一杯づゝ飲用せば血を増し肉を肥す

たんせき良藥 セキドミン
貳拾錢 貳拾五錢 五拾錢

小兒の友
舶來 人形印ミルク
母親の助け
登錄商標

京城日報　第三版
四月一日（夕刊と合せて八頁）

京城謹壇

農村の振興と林業

悪栗山人

元來我邦は農業を以て立國の基礎とし近時商工業著しく隆盛となるも内地人口の大部分は農民にして産額四十億萬圓中其の過半は農産なるに徴せば農業の進歩發達を圖るは實に必須事と謂ふ可く延て農村の振興は刻下の一大問題たり、内地に在りては近時此點に就き政治家及び學者間に於て種々研究中なるが翻つて我朝鮮の現狀を案ずるに朝鮮の總戸數は二百六十萬、此の人口千六百八十萬人を算し總戸數三百十二萬戸に對し八割七分、總人口千六百萬人に對し八割三分、即ち百戸に付き八十七戸、百人に付八十三人の多きを占むるのみならず他面商工業品の生産今尚寥々たるを思はゞ我が半島は古來農業國たると共に近き將來に於ても尚ほ農業國として進まざる可からず、從つて本問題は内地に比し一層痛切なるものあるを知らざる可からず

農業の進歩改良は内地に比し一層痛切なりとせば苟も朝鮮に於て殖産に從事するもの、官民の論なく内鮮人の別なく何れも此の點に充分の注意を加へ又實際農業に從事するものは朝夕其の改良進歩を心掛けざる可からず、農業の進歩開發を圖るには其手段方法素より數多ならむも終局の目的たる農産品の増進及び改善を期せんには農村の振興を以て第一とすべく農村疲弊と云ふが如きは實に農業の進歩改良に對する一大不祥事たり、されば農業に從事するものは勿論之れが關係者は常に農村振興の四字を眼目とし戮力一致以て此の途に猛進せざる可からず、農村の振興は實に國家富強の根源にして英國の如き商工業を以て立國の大本とせる國に在りてすら今回の歐洲大動亂に際して頓に悟る所あり頃者農村の振興に付多大の注意を喚起するに至れり、蓋ち國家互に砲火の間に見ゆるに至らば國民の食料は勿論軍需品の大部分は之を農産品に俟たざるを得ず且又强健なる壯丁は之を農村より求めざるべからざるを以て農村の振興は啻に農家の幸福農村の繁榮を得るのみに止まらず國富の増進、國力の充實[illegible]

[illegible]と林業に就き聊か卑見を開陳する處あらむとす

朝鮮の全面積は約一萬四千方里を算するも農耕地は僅々千九百方里に止まり其の殘部は殆んど山岳にして此の面積大約一萬方里を超え全世界中實に屈指の山國と稱せらる、而して農耕地の五倍半を占むる此の山野は從來左したる利用を見ず否寧ろ植樹の途なく伐採一方を以て推移し現今尚ほ一萬方里以上の山嶽は殆んど荒廢に歸し漸く三千方里の森林を北方支那境に見るの外なき狀態に在り、樹木は一度之を栽植せば殆んど獨り生長するが故に幾多の勞力に依りて鮮少ならざる收入を得べく、而かも此の大面積を占むる山嶽をして空しく放棄するが如きは不經濟も亦甚だしきものといふべく、苟も農村の振興を計らむには先づ此の山岳に對して一考を費すこと肝要なり、從來山野を荒廢に歸せしめしは殖林保護の途を講ずるもの無かりしと政治不行屆の結果なるが今や新政の惠澤漸く土に普ねく保護取締の途整備し來れるを以て官民を安じて殖林を行ひ得可く農村在住者にして農業の手隙を利用し假令少許たりとも毎歳栽植を忘るゝことなくむば二十年後三十年後若くは五十年後に及ばゞ莫大の林木となり多額の財産を生ずるに至る可し、農業に在りては毎年耕作して毎年收穫するが故に貯蓄は容易の業ならざるも樹木に在りては一度栽植せば何等の費用を要せず自然に生長するを以[illegible]

[illegible]政府の[illegible]する所となりしが之れ實に林業に依りて農村を振興せしめし好適例にして農村振興と林業とが如何に密接の關係を有すかを知るに足らむ、農村の振興と林業とは此外尚大なる關係を有す、同縣下の海岸に、俗に[illegible]と呼ぶ地あり此處は日本海の强風四時絶えざる地にして今より二百年前に在りて一面の砂原となり一本の樹木一戸の家屋に見ず此の田畑なく荒廢たる砂漠なりしが村民七兵衛と云ふ者海岸一帶に樹木を植栽して此の烈風を防ぎ田畑を開き部落を造らむことを企て永年の歳月と多大の苦心を重ねて遂に之れを成就したる結果方數百町歩の砂原は次第に變じて田畑となり附近の農民漸次來集して美事なる一農村を構成するに至れり、昨夏實見する處ありしは當時貫紙所載の通りなるが兎角林業は啻に農村振興上必要なるのみならず斯の如く從來の荒地をして立派なる農村たらしむるに至る偉大の力あり佛國ボルドーの如きも亦た好適例といふ可し、要するに森林は吾人に木材を供給し吾人は之れに依りて諸般の産業を營む其の種類の多樣なる枚擧に遑なく其の齎らす效果亦紙に盡す能はざるなり、尚ほ林業の效用に就き二三の點を記さんに第一は農業との關係なり、之は各種の方面より見るを得可きも先づ地力の關係を第一とす、山野に樹木繁茂せば毎年落葉腐朽して多量の天然肥料を得不知不識の間に其の下の方の田畑に施入す、然るに[illegible]

[illegible]に過ぎず而かも近年朝鮮の牛は其の肉質良好にして近年盛に内地及外國に輸移出せられ[illegible]の爲め皮革の騰貴を告げつゝあるを以て需要は將來益々增加す可く畜牛の增殖は極めて有望の事業たるを失はず故に植林を行ひ之に依て優良なる牧草を得るに努めざる可からず[illegible]地方の畜牛が體格優秀にして南鮮地方の畜牛が稍々劣等なるは全く北鮮地方に於ける山野荒廢の度が南鮮地方に比し稍々輕微にして良好の牧草を得せしむるに由ると思惟せらる、其の他山林は[illegible]の飼育に對して尚ほ密接の關係を有するも茲には省略す可し

第二は工業上に及ぼす關係なり、此の關係は何人も直ちに想像し得る處なるも二三を擧ぐれば陶器業の如く多量の燃料を消費する工業に在りては山林荒廢の爲め其進歩に多大の障礙を與へ居れり、陶磁器の如く運搬不便なるものに在りては可及的消費地近くに於て生産するを有利とするが故に朝鮮に在りても速に此の工業を起さしめ移入品を防遏し尚ほ進んで滿洲地方に輸出するに至らしめざる可からず、之に就きては燃料を豐富ならしむること刻下の急務たる可し、又た漆器業に在りても往昔は見るべきもの多かりしが最近不振を極め居れり、内地に於ける漆液の使用額は大約三十貫にして内地産は十萬貫に達せず其の大部分は之れを支那より輸入し居れり、然るに朝鮮は漆樹[illegible]

[illegible]物、鳥獸の[illegible]に富むも之れに反せば食餌を得ること難なり、山野荒廢せば河川の[illegible]の結果として獨り河川漁業のみならず[illegible]河川に於て産卵する魚族の漁業に在りても亦大影響を受くるや必せり

第四は交通との關係なり、山野荒廢の結果は大雨毎に洪水となり而かも其の水は多量の土砂を含有するが故に或は河床を高くし或は[illegible]を埋沒し或は鐵道道路を破壞し[illegible]

草萌　─五の日十の日會─

○俵炭ならび手をつけず草萌　浮翠樓
○外出著になり朝飯の草萌　拔柳
○草萌ゆる門番の子がわめく　句平
○草萌二三日落落かず森す　華虹
○代りく\カシく\に上る草萌　鳥堂

[illegible]

評曰温雅、不見次韻之痕、敬服敬服　妍秀

京日案内

朝鮮總督府
伊東祐穀著　第十一回 朝鮮財政年報　特價金一圓二十錢
發賣所 東京堂書店

年金恩給退隱料　即時立替　依屋
多利ゴム風船　太陽商會
藥學生募集
紀念植樹　京城植物園
店員入用
朝鮮語科　英語科
礦物定量分析　坂元分析所
開合自働車
はねつぎ　柔術道場
廣橋自働車

簿記募集
私立 日本簿記專修學校
毎月樂しみある割增金附勸業債券
甲子台貿會社朝鮮代理店

婦人獨立自活號
婦人之友 四月號
婦人の自活　三宅博士
母道と職業は兩立するか
職業の苦樂（痛切なる實驗）
保姆になつた私の經驗
若後家の産婆
閨主婦が集つて内職の會
家計問題 花子の學資
家庭 絞り染法
家事寫眞 若奧樣の帶の結び方
婦人之友社

新製名菓 人蔘ドロップス
朝鮮一手販賣　木村屋滿鮮本店謹製　木村屋京城支店

堀内新泉先生新著
當世百道樂
賣捌所 京城日報社代理部

[illegible]

◎露國と日本の食品[illegible]

○日本軍艦撃沈説無根

海軍省發表＝昨今米國の新聞紙中に東京發電カナデアン、ニユース入電として獨逸假裝巡洋艦が南太平洋上に於て日本軍艦一隻を撃沈せり云々の記事を掲ぐるものあるも右は全然無根なり（東京特電）

○南洋方面危險全く去る

獨巡洋艦影を沒し敷設水雷は流言

外務省其他への著電に依れば南洋方面の危險は最早全く去りたるものゝ如く一時傳へられたる獨逸假裝巡洋艦は其の影を沒し又敷設水雷の如きも眞の流言に過ぎざる事明かとなれるのみならず殊に香港以南は英國政廳に於て嚴重なる警報を發しつゝありし危險は今や全然除去されたるものと見るを得べし（東京特電）

○佛軍進出要地占領

シヤンパーニユ方面に大戰開始か

オアーズ河支流方面に於て佛軍は新に一大進出を爲し戰略上の要地マルギウアルの北東ルイリー、スーウイルを占領しシヤンパーニユ方面にては砲戰猛烈なり此の方面にて大戰開始さるべき形勢なり（紐育電報）

○佛軍接戰兵站部奪取

巴里來電＝公報に依れば今や佛軍は全戰線に亘り到る處に於て獨軍と接戰しつゝあり尚佛軍は重要なる獨軍兵站部倉庫所在地を奪取せり（桑港電報）

○前露皇帝申出拒絕さる

前露國皇帝は皇子等を講威に送る事を申出でたるも政府は之を拒絕せり（桑港電報）

○政府外相に梁氏を擬す

北京政府は陸徵祥氏の外交總長就任は到底議會の賛成する所とならざる爲め新たに梁啓超氏を以て之に擬し梁氏も亦就任を希望し居る模樣なれど議會通過するや否やは疑問なり（北京特電）

○伯拉西爾公使廢止

二十九日國務會議の結果支那は伯拉西爾駐剳公使を廢し駐米公使に兼任せしむる事となせり（北京特電）

○元帥會議と伏奏

既報の如く此の程迄にては元帥府に對し重要なる御諮詢ありたるを以て山縣、井上、東郷、川村、寺内各元帥は三十一日午前十時より前後して宮中西一の間に參集し軍隊精神に關する問題其他重要御諮詢案に就き慎重審議する所あり終つて一同打揃ふて天皇陛下に拜謁仰付けられ山縣元帥より奉答伏奏し正午午餐を賜り散會せり（東京特電）

○英國生糸輸入檢查

駐日英國大使は三十一日本國外務省より「英國への生糸輸入免許は之を絹製品全部に適用すべし輸入を免許さるべき生糸及び割合は輸入數量に依らず輸入價格に依り檢査すべし」との電報に接せり（東京特電）

○船價下落趨向

船價暫下落の趨向を示せり（東京特電）

○汪大使門司發

大使は斯く語る

歸國の途にある支那特派大使汪大燮氏一行は三十一日商船哈爾賓丸にて神戶より門司著午後一時大連に向け出發せり大使は皇室並に一般國民の篤き款遇を感謝し之れ日支親善の基礎に相違なきも猶進みて兩國民間に於ける意思の疏通を圖り倍々國交の親密ならん事を希ふと語れり（門司特電）

○交通部員南行

渡日の途にある支那交通部員一行は三十一日午後八時三十分大連より奉[illegible]

天著同五十分發安奉線列車にて南行せり（奉天特電）

○總督大邱到著

長谷川總督一行は三十一日午後二時五十分大邱に到著之より先き同地高官は滿道迄出迎へ停車場には官民軍隊生徒等の出迎へ多數なりき（大邱特電）

○農事資金需要

高瀬東拓理事の談

朝鮮の地方に於ける農事資金の需要漸次起り來る模樣なるが右に付高瀬東拓理事は曰く

▲臨時會社の金融部に對し個人若くは團體の名による農事改良資金の申込みは稍目立ちて增加し來れり是れ春暖と共に農業時の切迫したるなるべきか其の內容は不動産を擔保とする水利灌漑の施設最も多きに居り土地改良の資金もあり更に地方農民にして高利の負債に苦しめる分の借換へも含み居れる如く彼此申込み相踵ぐため金融部鑑定係の如き殆んど目下の所出掛けひたる形なり之れ每年の例とも稱し得べきが或は一月より質入せし貸出利子の低下も其の勢ひを若干助長せるならん尙ほ世上往々東拓金融部は申込みより現金の授受迄に少なからざる日子を要すとの言を爲すものあれど當局としては事務の

▲整理段落を速やかならしむる點より見るも決著を急ぎつゝあり個々の數箇月の時日を要するものは擔保物件の鑑定價格が申出で金額との間に多大の開きありて交涉容易に纏まらざるか若くは交通不便の僻遠等何等か特種事情の存在せる者也云々

○京城學校組合會議

京城學校組合會議は三十一日午後三時より商業會議所樓上に於て開催されたり出席議員十二名金谷府尹先づ開會を宣し直に會議に入る之れより先き去る廿四日より引續き開催されたる委員會により其の附託事項は無事審議を了し修正案の報告あり即ち修正案各項に就き委員の說明ありて各案の討議に入る原案の修正せられしものは議案第一號大正六年度組合豫算案及び第八號大正六年度歲入出豫算修正案にして其他議案第二號、第四號、第五號、第六號、第七號、第三號は執れも原案通り決定されたり、理事者側に於ても多少原案の維持に努むる所ありたれども結局委員の修正報告通りにて各案全部の結了を見散會せしは午後六時四十分なり、大正六年度歲入出豫算修正金額は左の如し

▲歲入の部　經常部　金二十二萬四千八百七圓　臨時部　金四萬九千四百七十一圓　合計　二十七萬四千二百七十八圓

▲歲出の部　經常部　金二十一萬二千九百五十三圓　臨時部　金六萬一千三百二十九圓　合計　二十七萬四千二百七十八圓

之を原案金額に對比すれば歲入經常部に於て二千三百九十六圓の增、歲出經常部に於て三千六百九十六圓の增、同臨時部に於て千三百圓の減、合計二千三百九十六圓の增加を示し歲入臨時部金額は原案金額を維持せり

○朝郵決算締切

朝鮮郵船會社に於ける大正五年度下半期の決算は三月二十五日を以て締切り目下關係各課にて切りに精算を進めつゝあるが決算附議の重役會議は原田社長歸任の上一應數字の精査を行ひ多分四月十四五日頃迄に開會さるべし尙ほ當期の成績は前年同期に比し若干好良の模樣なり唯二月末全羅丸の坐礁沈沒ありしも其の影響は大正六年度前半期となるものゝ如し

○鮮銀店長會議

朝鮮銀行にては四月下旬鮮滿內地各店長を召集し例年の如く支店長會議を開くべく各課にては夫々準備に著手しつゝあるが出席店長は廿六名に達すべし

○安邊灌漑工事許可

咸鏡南道安邊郡に於ける大用水を利用する灌漑事業は從來注目されつゝありしが今回元山實業家某氏外一名の出願に係る面積を以て新設出願の件は今回總督府の許可に由り五月中竣工の運びに至るべしと

○京畿道植桑獎勵

京畿道にては補助金下附の下に桑苗共同購入を獎勵中なるが一般當業者は近來の好況に依り養蠶の有利なることを一層感知するに至れるの結果頗る好景氣を呈し各郡の申込數頗る多數に上れるが苗木其の他の都合に依りて今春は各郡の狀況を見計ひ道に於て三百萬本を購入し其の中三百三十萬本を補付しむることゝしこれが苗は既に大部分拾貰せしめつゝあり各郡は四月一二日頃より一齊に補栽に著手する筈なりと

○咸北養蜂有望

咸鏡北道にては養蜂を經營され居れるが咸鏡北道の如き氣候酷似し且つ開花期は內地の如き春秋の候に限らず夏季より初秋に涉り常に草花を絕たざる地方に於ては農家の副業として經驗を積むに及んでは有望なるが殊に茂山、吉州郡の如き山岳多き地方にては有望なる事業なり今本道に於ける蜜蜂飼養戶數を聞くに七十九戶其巢箱數百四十七個蜂蜜產額九百五十八斤價額四百九十四圓蜜蠟百廿四斤價額四十四圓に過ぎざる微々たる現狀なるが鴨綠江上流地方の如きは一戶三四十の巢箱を所有し蜂蜜を石油罐に入れ之れを馱馬にて搬出しつゝあるの盛況を呈し居れりと（羅南）

○慶北道漁獲高

慶尙北道大正五年中水產物漁獲高は鯖三十七萬九千五百七十圓、鰯二十六萬六千圓、鯖二十萬八千四百七十圓及び鬱陵島スルメ十一萬四千六百十圓、大刀魚五千六百五十圓等が主なるものにて總漁獲高は百五十六萬七千圓にして大正四年よりは五十一萬七千圓の增加を爲せり（大邱）

楊子江口より

中島生

大正六年三月二十六日午前十時襄陽丸船中にて

○廿二日漢口を發し大冶に參り西澤氏邸に一泊、廿三日鐵山を視察致し夜半此船に乘り只今上海に向ふ途中に有之候

○大冶の鐵山は聞きしよりも一層大にて有之、今後百年掘りても盡きぬ山にて、日本に斯樣の山が一つ有りたらばと羨望に不堪候、併し我製鐵所は年々三十萬噸の鐵鑛を之に仰ぎ日本の承諾なくして此鐵山に關し一切他國と協商する事を得ざる事と成り居り、大に人意を強め申候、西澤氏は製鐵所より派せられて大冶に在ること十八年、附近の支那人は此大人と稱して王樣のやうに崇敬致居り候

○二十三日夜大冶鐵山の坐辨にて季といふ人に招かれ盛大なる饗應に與かり申候、若し日支親善の最も事實上具體現せられたる所を擧ぐれば先づ第一に大冶を擧げざるを得ず候、在留日本人十餘名皆十年八年と永く滯在し、殆ど土著の有樣にて支那人との交際も深く、冠婚葬祭に往復する間柄となり居り候、甚だ愉快の事を存申候

○大冶には例の西塞山が江水に臨み白鷺とか桃花流水鱖魚肥と歌ひたる處に御座候、先は一筆如此御座候

○全羅丸保險金授受

朝鮮郵船會社坐礁汽船全羅丸の保險金は海上保險會社の結果により決定すべしと既報せしが更に聞く所によれば同船遭難の現場並に遭難事情を精細に視察の結果全く不可抗力によるものと認め契約保險金全額を支拂ふべき旨申出でありしに付近く會社との間に授受取り行はるべしと

○東拓鑑定料改正

東拓會社に於ける水利灌漑事業鑑定料は社員を特派し實地踏查を爲さしむる必要上之れが費用として從來は其の申込み金額に對する千分の三を徵したりしも今回更に之れを改正して依賴者の便宜を圖り去る三月二十日より左の如く改めたり

擔保物件所在地の遠近に拘はらず借入申込金額三千圓以上は其千分の三を徵し[illegible]又三千圓未滿は[illegible]

[illegible]

○京畿二月[illegible]

[illegible]

○原田社長歸期

朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は多分一日出發三四日頃歸京すべき旨本社に消息ありたり

人事消息

▲深川京畿道參與官[illegible]

▲[illegible]

▲小山[illegible]氏（小樽商業會議所）同上不日歸京

▲中川半十氏（米國シカゴ留易所）三十一日[illegible]

▲守川節介氏（上海會社員）同上

南言北語

▲獨逸の食糧搜索隊が和蘭へ行つて抑留せられたさうな▲食糧搜索隊なんて餘り人聞きの良い話ぢやない虎か狼が食に餓えてノコノコ人家近く出て來て捕つた格だ▲而し獨逸の食糧缺乏は斯る事をせねばならぬ事程左樣に困窮に陷つて居るらしい▲一時傳へられた獨逸の革命說も其後何等の音沙汰のない處から見ると▲どうやら食糧暴動の誤であつた樣な▲併し食糧暴動と社會黨が著しく喰い付いたら或は眞の革命になるかも知れぬ▲共和主義の理想は獨逸にも根を卸して居る筈である▲若し之れがものにならぬとしても南獨逸に危險が伏在して居るのは事實だらう▲其れは例のホーヘンツオルレルン家を廢して巴威のウイツテルスバツハ家を立てゝ獨逸の皇室とせよと云ふ運動である▲「威巴と平和」と題する此意味の秘密出版が普魯西官憲に氣附かれて早速沒收になつて居るが▲英米新聞には廿抄譯がチヤーンと載つて居る▲此反普魯西の感情は獨逸全體に磅礴して居るさうだから▲獨帝は今の處前門に狼後門に虎を控へて居るやうなものだ▲戰爭は面白く無いし出來もせぬ講和說は又た飛び出すし神經衰弱の起るのも無理はない▲幸し常り漢堡城中で炭や炭や汝を奈何せんとでも倒せられて居る事だらう▲食糧問題と云へば日本でも朝野の有識者中には日本に於ける食糧の獨立を痛感して居る人も少なくはない▲肝付男爵などは「日本の糧食獨立問題は新嘉坡以東南洋以北の海權を把握するまでは解決が出來ない」と云つて居る▲他所事ぢやないそれは最眞目に研究を要する問題だらう

謹告

歐洲戰亂の影響は海外の輸出をして益々旺盛ならしめ內地工業界の勃興は其の需要をして愈々激增せしめ候目下の石炭界は空前の大盛況にして常に供給不足勝より市價は日に月に暴騰を來し殆ど底止する所なき現狀に有之我撫順炭も午遺憾本日より左記價格に改正の止むなき事情と相成申候午去未だ〳〵內地炭との比較上遙かに割安にして價格の懸隔も充分に有之事に候へば何卒事情不惡御諒察被成下今後共不相變御引立御用命の程偏に奉願上候右不取敢謹告仕候也

一撫順塊炭　壹噸に付　半噸以上（持込）　金拾四圓貳拾錢也

一撫順塊炭小賣　壹叺に付　壹叺以上六叺迄（持込）　金壹圓貳拾錢也

一撫順切込炭　壹噸に付　半噸以上（持込）　金拾參圓貳拾錢也

一撫順粉炭　壹噸に付　半噸以上（持込）　金拾貳圓貳拾錢也

大正六年四月一日

南滿洲鐵道株式會社

撫順炭販賣業者一同

今般京城長谷川町五十八番地へ移轉仕候間此段謹告仕候

京城長谷川町九十一番地より同長谷川町

帝國公信社朝鮮支部

電話二五三・[illegible]

振替京城二〇一七番

帝國漢學普及會

[illegible]

財團法人 電機學校

電氣化學科特設

豫科講義錄出版

水哉 坪谷善四郎君著

最近の南國

東京本町 博文館發行

□菊版三百五十餘頁　□南洋地圖一葉　□寫眞版六十餘個挿入

我が臺灣の南、新占領地の西、赤道の南北に跨り、太平洋と印度洋の間に横はる數千の嶋嶼中、比律賓、ボルネオ、セレベス爪哇の諸島と馬來半島とは世界未發の寶庫にして地勢上實に我が同胞發展の絕好舞臺なり。然れども各地の風土、氣候、人種、風俗、政治、産業皆な同じからず。故に漫然渡航せば失敗を免れず。著者之を慮り、最近に自ら巡廻し、具さに調査して本書成る。行文平易、記事精確、觀察また奇警、渡航の案內、企業の指南、娛樂の讀物をも兼ぬ。書中に著色石版地圖と、六十餘種の寫眞とは錦上に花を添ふ。……正價壹圓四拾錢

學生諸君試驗答案用 組合七文房具 京城本町 限ル シノザキ

[illegible]軍隊は皆上長官の命令を忠實に遵奉せざる可からず無規律の軍隊は敵軍に對して何等の威力あらず今や國內の隨所に我軍人と同樣の服裝[illegible]

[illegible]らず殊に[illegible]一般國民と同樣自由に政治に關與し得る平等權利を享受するの特典を得たるを思ひ一層愛撫するの虞なかる可からず今や敵軍は我國の虞[illegible]

[illegible]政府は忠勇なる軍隊の勝利を信じ且つ國民に對する責任を全うするを確信す希くは益々奮激して征討[illegible]

[illegible]二十八師[illegible]兵處罰の一項のみに止まり[illegible]は既報の如く馮師長より調査の上嚴重處罰する事となり張督軍より再三[illegible]督軍より奉天總領事館に正式の傳達ありこれにて日支交渉案は全部履行されたる譯にて從うて該協定に出る[illegible]されたる

支那各海關[illegible]人總數は二百五十七人にて此內獨人は外班者を除き二十五人なるが孫稅務司[illegible]は海關在[illegible]せず特に[illegible]稅務アグレン氏は之れに反對し[illegible]獨人は皆多年支那に在りて豐富なる經驗を有し之れを研究す[illegible]て得難なる經驗を有し之れを

●湯恭順眞似(如何)

確報に據れば一日白土廠門迄落ち延びたる湯玉麟氏は北鎭に赴き恭順の[illegible]に赴きて湯氏の眞の恭順[illegible]調査中にて未だ歸奉せざるが張督軍の對湯[illegible]け呉將軍等の歸奉を待ちて決定するなる可し（奉天）

●鮮銀の新株募集は素晴らしい景氣！　銀行に百萬圓の金が轉がり込む

朝鮮銀行の新株券は內地でも朝鮮でも素晴らしい景氣、這回百萬株の募入には廿八圓以上の割增金附きでなくては一切駄目とあつて、それ以下の申込みは一切はねられることとなつた、現に[illegible]

◎一人で五千株も

應募したにも拘らずプレミヤムが五圓だつたので、お氣の毒ながら[illegible]られた向もある位、割增金二十八圓以下の人へはいよ〳〵三月三十一日東京支店から通知狀を出すから申込者はそれを以て證據金の拂戻しを受ける等、既に舊新株券十萬株の中七萬株は舊株主の應募となり殘り三萬株を以て一般の公募によることとなつたのが申込は殆んど

◎十萬五千三百株

以上に上つて居る、それで割增金の如きもなか〳〵思ひ切つたものがあつて最高五十四圓といふ高値もあり卅圓以上が二萬四千七百株を占めたので殘り二十九圓臺の五千三百株は申込株の按分比例に割當てることとなつた、それで假りに此の割增金の平均を三十三圓と見るも三萬株に對し九十九萬圓の不意の收入、銀行には

◎約百萬圓の金が

ころげ込んだ譯である、銀行では此の金を何うするか、それは定款に規定された積立金の中に入れて從來の補塡及び配當平均準備積立金として備へられた五十九萬圓の積立金に[illegible]增加される譯である、

最近相場は中値百七十三圓五十錢まで實際取引値段は百七十二圓を呼んでゐる、これは露西亞の

◎革命ノ影響を受

けて一般銀行株の釘付けになつたにもよる事だが猶ほ一割の配當ある鮮銀行の株よりも高値である、從來一千萬圓の資本金より新らしく二千萬圓の增資を決行した朝鮮銀行の此の人氣は半島及び大陸に於ける銀行の經營がだん〳〵根強く〳〵發展して行くからであらう、洵にお目出度いことである

●ダヌンチオの舞臺撮影監督　寫眞撮影のために馬と象をアルプス氷原に、俳優をアフリカ大陸へ

本社が本紙愛讀者のために今回[illegible]部に交渉して[illegible]を以て四月六日から三日間[illegible]に上演する事となつた伊太利文豪の

▽ダヌンチオ　の傑作羅馬史劇『カビリア』は實にイタラ會社が一ヶ年の日子と撮影費百萬圓を投じたもので此の映畫中最も印象され且つ不可思議なのはエトナ山の噴火、信ずべき壁畫から釣合よく建造された羅馬艦隊の火災及びモロッコ寺院內の神を祭つた恐ろしい

▽怪物の偶像　などで此寫眞撮影[illegible]頭の中特に注意すべき所である、又同劇ではアニバレのイタリア侵略を描くために幾多の象と馬とをアルプスの氷原に送り、又撮影技師と俳優の數多を砂漠の場面を撮るためにアフリカ大陸に送り且つ亦何て他に類の無い大建築を爲す等無制限の

▽時と金と勞力　とを費して此の作品を完成したので仔細に映畫を見てゆくと歴史を繙くかの樣な感じがする、尙ほ俳優達は熟練するまで專念に鍛錬稽古をしたといふ事である、要するに十二卷を通じて各卷毎に現はれた想像的藝術は最近活動寫眞成功の

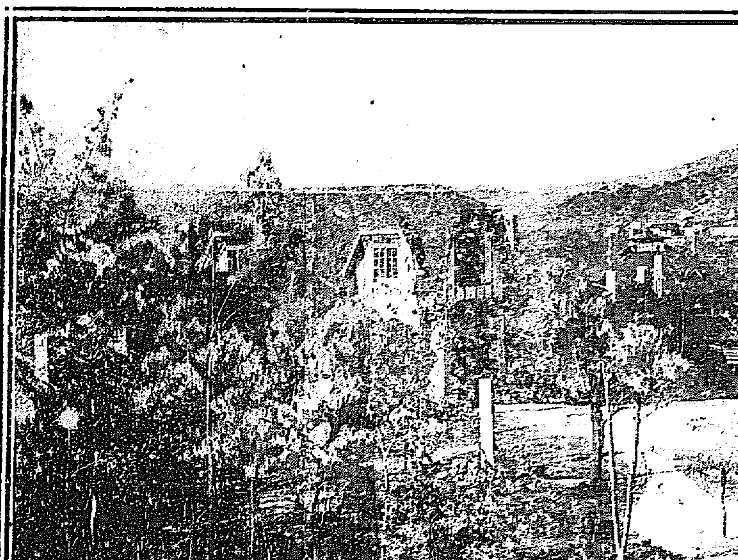
▽絶頂に達し　たものであつて破壞されたる華美、危險な戰爭、攻圍、火事場等が映る前には必ず美しい情緒に囚はれて終ふのであらう、そして此の劇中には戀と忠義、爭と平和、宗教上の迷信と男女上の奸策等數多の

▽複雜の關係　が含まれてある、それに此の寫眞にはダヌンチオ自らが一年に亙つて舞臺監督を爲し且つ舞臺設計を爲し併せて撮影監督をした權威ある作品であつてその結構の大仕掛な事も殆んど空前であり、隨つて俳優の一擧手一投足に無駄が無いといふのが此の寫眞の大なる誇である、猶は

▽極く簡單で　その中には活劇もあつて頗る面白く出來てゐるからゆる階級の人に歡迎されることは言ふまでもない、然かも最近北部地方に於て撮影するや井手福岡市長、香椎福岡縣師範校長、九州日報、白坂福岡縣立中學修猷館長、藤川福岡縣立工業學校長、太田福岡市立

▽商業學校　長等が夫れぞれ各證明書を送つて學生の自由觀覽及び團體觀覽を認めたのである、本社が今回讀者諸賢のために多大の犠牲を拂つて興行者より特權を得たのも『カビリア』そのものが現今俗寫眞界に現はれたる凡俗の寫眞中群を拔いて藝術的に有價値の寫眞であると認めたからである

●滿洲視察寫眞帖（一）（五龍背溫泉場）



◆五龍背溫泉場は安奉沿線安東縣驛を距る十五哩六分の地點にあり山紫水明の勝地にして視察團一行は四月二十八日午前六時同地着[illegible]悠々一週の旅塵を洗ひ[illegible]

●何處も彼處も盛んな歡迎準備　本社視察團と奉天在留鮮人の計畫

本社主催の南北滿洲視察團が春風一路の花の旅行に上るのは愈々來る四月の十五日、何處も彼處も大歡迎で定めて賑ふ事であらう、殊に

▽奉天在留の　朝鮮人有力者は這回の擧をわが事のやうに悦こんだあまり團員中の鮮人紳士側のために大歡迎會を開催する事となつた場所は奉天の大西門內文興料理店の松鶴軒、わが視察團の到着した翌日四月十七日の午後一時から

▽盛んに歡迎　しようといふのである、現に奉天在留鮮人有志はわが[illegible]ふのである、現に[illegible]代表者を選び安東驛まで出迎ふる計畫で[illegible]猶は奉天の[illegible]にては多數の人々が[illegible]ある、猶は奉天の有志は目下協議中にて大に

▽朝鮮貴族の　人々をも[illegible]迎しようと云ふのであるが從來兎角排日派の巢窟のやうに誤られた在滿鮮人が這回斯の如き大歡待を催すとは相互の誤解を解いて將來の親交を圖るに何よりも結構なことであらう

●死刑が證據不充分で無罪　殺人強盜の嫌疑者嬉し淚に咽ぶ

忠淸北道淸州郡梧倉面星山里生れの金蓮亭（三〇）は慶北尙慶郡好湾面許山里の紬行商閔姓女（六〇）が大正四年舊十一月六日賣掛代金集金のため星山里に來り詳事方に二泊し八日午前四時梧根場に向け出發したる際之れを追跡し山途にて閔姓女を捕へ所持金二十圓を奪取し屍體を谷間に埋葬したる殺人犯人嫌疑として淸州警察署に引致され公州地方法院にて昨年十月十八日死刑の宣告を受けたるものなるが同人は之れを不服として京城覆審法院に控訴したる結果證憑不充分のため此程無罪の判決を受け[illegible]

●五人共謀して官印僞造

全南長城郡邑南面福山里生れ金周□（二四）京畿道漣川郡往道面江山里生れ李象儀（二九）黃海道延白郡溫井面祥雲里生れ邊鵬永（三一）北淸州郡江西面池東里生れ洪淳玉（三七）慶北漆谷郡仁東面黃中里生れ張蓂（三一）等は何れも京城に落合ひ孫顯周が主謀となり全南長城郡西三面北元里、淸江里、見坪里等に水田六百二十七斗落を所有せる如き土地所有文券を僞造し長城郡守の印影郡廳の所要官印を僞造押捺し之れを擔保として京城本町三丁目の貸金業平佐某に金六千圓の融通を申込み五十圓だけ詐取したる際犯跡露顯し首謀者李象儀は單に同樣の官印文書僞造をなし[illegible]にて[illegible]

●怪しい支那人　付阿片密輸者

去る二十七日午後十時三十分發の南滿洲線列車にて[illegible]風采賤しからず體格肥滿せる一支那人が柳行李一個を携帶して三等列車に乘車せしを同列車の車掌は怪しみて折柄構內取締の爲め現場へ出張し居りたる巡査に密告せしかば巡査は卽刻北派出所へ同行し嚴重なる取調をなせし處同人は目下東廿四區に居住する張寶貴（四二）と稱する者にて作の柳行李內には阿片塊參斤を藏し居りそは某支那人の手にて[illegible]の某より千六百五十圓にて購入し[illegible]へ搬び行きて賣捌かんとせしものと判明せしを以て直ちに警務署へ押送したり（奉天）

●銃器で毆つて修繕料を取る

江原道春川郡府內面後坪里李敬淑（二〇）は某官吏方の雇人なるが三月十二日午後十時頃同地東外一作韓興鶴方に於て[illegible]里村龍湖[illegible]金姓女（三〇）と密話中を[illegible]先方の內房にて[illegible]直ちに獵銃一挺を携へ來り件の內房に侵入し榮燁を誰何したる上榮燁の胸部に銃口を差附けたるより榮燁は恐怖の餘り逃走したるを追跡し同所より約四十間を離れたる小川端に到り銃をて亂打し前額部外全身數箇所に重傷を負はせたる上木綿紐を以て榮燁を縛り上げて引致し汝を亂打したる爲め銃器破損したるより其の損害金を提供せよと脅迫したるに榮燁が承知せざるより更に長さ三尺許りの松割木を以て縛し[illegible]

●夫殺しは死刑

江原道伊川郡邑內面碑石里大工徐光淳妻白氏（三一）は九年前光淳に嫁ぎ昨年三月光淳は當に他に出稼ぎ中當時臨時土地調査局の技手辛極星（三五）が公務の爲め來り五月二十二日より白氏宅に滯在したる際極星と通じて情を通ずるに至りたるが極星は同年六月中旬平康方面に引揚ぐることゝなりたれば白氏は惜別の餘り密かに時機を窺ひ居る內偶々光淳の本夫を殺害して極星の跡を追ひ[illegible]は出稼先にて病氣に罹り藥を持參せ[illegible]との便りありたるより[illegible]白氏は[illegible]したる殺人事件は此程京城地方法院に於て白氏は死刑の宣告を受けたり

●行餘會の講演會

總督府給仕の修養機關なる行餘會にては[illegible]より成れる行餘會にては[illegible]懇談會を設けて講話會及び作文を作らしめ其の結果を發表し太田川度主任主催の下に三十一日午後一時より第二會議室に於て賞品の授與を爲し太田主任の訓示、上田視學官の立志に就ての講話ありて二時に亙り右終りて茶菓の饗應あり散會したるは午後四時なりき

▲褒賞授與者　[illegible]舘搭男、佐藤駿平、岡尊康、神田春吉、渡邊照、久木田重次、藤井小十郎、紀伊國陶一、藤田吉之補、示女勝、原清八、光永登、高本秀雄、渋邊五郎、村川喜一、松田貞男、權重夏、洪萬戊

●觀世當務會發會式

故觀世淸廉師の高弟にして多年松屋に敎授せる猪山氏は三月限り任期滿了せるも今後京城に永住する事と爲りしに就き門人多數は新たに觀世當務會を創立し發會式を四月一日午前十時より日出町なる會館に於て擧行し左の番組に依り素謠の後祝宴を開く由尙ほ會の同好者の參を歡迎すると

右近、籠、巴、櫻川、經政、雲雀山、花筐、紙洗、忠度、鉢木、大佛供養々

●別莊から出火

三十日午後三時三十分頃釜山富平町三丁目四十一番地伊藤別莊より出火したるが日雲なりしとて近隣の者發見し其旨釜山警察署に急報せしより消防隊驅付け防火に努めたる爲め大事に至らず鎭火したるが原因は取調中なりと（釜山）

●監獄職員運動會

京城西大門監獄にては四月三日社稷洞社稷壇にて同監獄典獄以下勤務職員の家族[illegible]

山田長政　學生

新學年號

主筆 大町桂月　春の自然界

今春の野球界（臨時試驗場）三浦（横井、春野、飯島博士）

神武帝と大和三浦（民族博士）　仰いだ三浦

諸君に緊褌一番この大文字を讀め

頭腦の解剖　新入學生迎ふ

中學入學當時の心持

落第整頓法

學生死の對

東京 神田　富山房　振替 一〇五

四月一日ヨリ五日マデ　春衣大賣出シ

新柄セル、ネル、帶地格安品

其他見切反物　澤山取揃申候

京城本町　丸一呉服店

子爵 小笠原長生著

學習院 敎授 部 他助 新著

恩師乃木院長

四六版四百二十頁　上製（金文字美本）定價金一圓八十錢　並製金八十五錢（郵稅各八錢）

乃木大將肖像（コロタイプ版）　著者撮影寫眞版數葉挿入

古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、慎重篤行、萬人齊しく欽慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀也。著者は十有餘年學習院に教鞭を執る人、殊に乃木大將院長時代に、寄宿寮監督の重任を帶び、親しく大將に昵近して、其の偉大なる思想人格に追懷景慕する前は、當時の觀察は想を記載したる日誌を基礎として、圓熟時代に於ける大將の眞面目を縱横自在に發揮せるもの即ち本書也。通篇十五章五十九節、其の華族子弟の寮舍生活を描寫し、乃木大將を中心とせる感化訓育事業を詳述し、人道の儀表たる大將の人格を發露して些の遺憾なし。實に乃木大將傳中、別種出色に當する大文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。

青年子弟の德性涵養　學校職員の良典範　育英薰陶の好指針

新刊發賣　發行所　東京市京橋區日吉町　民友社　振替口座一三一〇〇

賣捌所　京城太平町　京城日報社代理部　振替二〇〇

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百二十三 奥の奥の手「廿三」の三

『おや〳〵ッ、絹代さん、貴女は一生懸命先刻にから嘘きも爲ないで、僕を睨み付けて居るやうですが……は、は、は、僕がそんなに怖いのかね。僕は、貴女の爲めを思つて、是ほど何や彼やと心配して進げて居るのに、僕を憎むの怨むのと云ふ量見を起す

何方が何方とも分らぬやうな意地して消しい〳〵微笑をにたりと口元に漏らした。それが又、松崎の眼には一層氣味わるく一層小癪に障つたのである。

『ちよッ、お前は僕を何事も爲し得ないと思つて、莫迦に爲てゐるんだね。好し！斯うなつたら僕も奥の奥の手を出すより外はないんだが……』

のは、そりや下駄と履きの爭き遊びと云ふもんでせう世。おい、絹代さん、一體お前は、何時から唖者になつたんだね』

今まで絹代に對して、貴女と云ふ敬語を使つて居た松崎も、最早もう堪痴玉が破裂しかゝつて來たので、遽かに『お前』と呼び捨てするやうになつたのである。

絹代は、聞いても聞かぬ態を爲て居るのか、それとも、松崎の言ふ詞が、頭と耳へも止らぬのであるか、

い、絹代さん、お前は何とかなつても僕の諸を背かなけりや背かんで聞はないから、立派に一語『默して背かいません』と聞言しなさい』

松崎の相格も、益々性怒的に變つた。彼はくるりと外套を脱いで古疊へ打付けると等しく、左右の袖を捲くつて、突然絹代の纖弱い二の腕を引摑んだ。

絹代は、それをも搖ひ除けやうとは爲ないで、にた〳〵と笑つた。

要領を得ない事夥しいのである。松崎は、寧ろ張合抜けの氣味さへ爲た。

『どうッ、何うしたんだね、絹代さん、それも明言する事は出來んと云ふのかね』

松崎は、二三遍力を罩めて絹代の胸倉を小突き廻はした。それでもまだ絹代は、目を閉ぢうとも爲なかつた。

『ひッ、ひッ縛つても言はして見せる』

松崎の所謂奥の奥の手なのである。彼は、絹代の帯揚を引解いて、彼女の手首を縛り上げやうと爲てゐつた。此の時、階下の女髪結は、錢箱を張上げて『松崎さん〳〵』と呼んだ。松崎は、不意を喰つて、稍驚きの容子であつたが、『お多利さん、何か用かね？』と、不氣らしく答へた。

『いゝえ、別に用ぢやないんですが、餘り草臥れましたから、鳥渡お山(下婢女の名である)を連れて、一風呂浴びて來ますから、戸口に氣を付けといて頂きます』と、女髪結は言つた。

木村屋賣り出し 入艶入りの ドロップ買ひましよおみやげに (京城明治町 電二八七〇)

『宜い、そんな事なら引受けましたよ。急いで行つて來て貰ひたいね』

言ふ内に、主婦の女髪結は、權手を引連れて、からころと出て行つたらしいのである。松崎は、心私かに女髪結など云ふ者は、案外氣が利いて居ると思つた。

『絹代さん、お前の身體には、血も涙も通つちや居ないと見わるね』

松崎は、何とか一言半句たりとも口を開かせやうと思つて、既での事に絹代の兩腕を脊後へ捻ぢ曲げやうと爲るけ、絹代は、初めてよろ〳〵ッと五體を戻はせながら、松崎の手をいやッと云ふほど突き撥つて、蹌とその儘立ち上つた。

『おい、良夫に痛い事は厭だと見わるね。おい、絹代さん、今夜はかりは、先達てのやうな救助船の來る氣遣ひはなしだよ。は、は、は、お前が睨め付けた位に怖氣を震つて、此のセチ辛い浮世の綱渡りが能るもんぢやないんだ。反抗ひが出來るなら、思ひ切つて反抗して見るが可い。此の松崎を、世間普通の前垂掛から成上つた商法家の手代なんかと一緒に見做して居ると大違ひだよ』

松崎は、絹代の位置へ引据ゑ裾を踏まへて、從者〳〵と爲るのを、絹代は、力限りに振り切つて、階子段の降り口へ片足を踏みかけたのである。左なきだに床の抜け落ちさうな押樂建の古二階は、みり〳〵と揺いで怪しの音響を發すると同時に、古圖の上なる壺洋燈が、絹利様ぎまに轉げて微塵に碎け……。大變ッ、洋燈が……と、松崎が、驚いて立ち寄らうと爲る間に、舞三！溢れ流るゝ石油は忽ち婦さつて、火先は見る〳〵古障子へ……

□ヒステリーは何して癒すか

ヒステリーは諸病の根源 精神療法が最も肝要

△ヒステリーといふ病は、殆んど婦人専門の病で、中流以上、殊に上流社會の婦人に多い、さういふわけであるから、この病氣が起るかといふに、これは主として精神の不滿から來て、夫婦間の愛の融和、家庭の不和等が多くの場合、その原因として數へられる

△本來精神的に起きて來る病であるから、これを治療するにも、勢ひ精神の作用によりて行ふのが最も安當であつて、藥劑のみで治すといふ事は不可能なのである

△たとへば、醫師を呼ぶにしても、なるべく患者が常時から信頼して居る醫師を選ぶ樣にする、萬一患者がその醫師に對して疑を持つて居ると、その結果は徒勞に終らねばならぬ。

△それから、患者をしてなるべく家庭の煩はしさから遠ざからしめ或は又轉地をさせる、すると自然患者の精神が一轉して、それだけでも大きな効果を持ち來る事になる。

△であるから、若し患者が一宗の信仰を持つて居る場合には、その信仰の念を果さしむるやうに仕掛けその信仰によつて、患者の精神を安靜にするといふ方法もよい、要するに信仰を主安とし精神方面から治療を施すので此の方法が巧みに行はれさへすれば、必ずしも醫師を要せぬのである。

△尤も近來では、ヒステリー治療法のために、電氣エマナチオンやX光線や、温浴法や、ラヂウム療法等もあるが、歸する處は精神療法で此の一點に缺くるところがあれば他の藥劑や、機械療法も何等の効を奏せぬ場合が多い(某醫師談)

新刊紹介

△軍政と國民教育 [illegible]

△寫眞世界(四月號) [illegible]

△活動寫眞雜誌 [illegible]

△少年倶樂部(四月號) 內容の充實と [illegible]

△面白倶樂部(四月號) [illegible]

△婦人世界(家庭教育號) 本號は常に清新にして有益なる趣向を掲載して婦人間に好評ある婦人世界の春季増刊なり。[illegible]

商況 大阪株式特電

[illegible]

●南滿の鑛產 金、鐵、石炭最豐富

[illegible]

●露都人口膨脹

[illegible]

●黒鐵起工期

[illegible]

第二十七回 新學期

大日本國民中學會

小學校卒業生が中學校に入らずして中學校同樣の學力を得らるゝ中學講義錄を看よ

創立十五週年記念大特典を提供し講義錄を大刷新して新學期を開講す

講義見本つき規則書無料進呈

會長 正三位 尾崎行雄

學監 文學博士 遠藤隆吉 理學博士 山內繁雄

學事 文部大臣 岡田良平 文學博士 三宅雄二郎

顧問 法學博士 浮田和民 法學博士 和田垣謙三 法學博士 新渡戸稻造

創立第十五週年第廿七回新學期開講記念として此際至急入會者には入會金全免 參考書進呈 會費免除等 大特典の外 獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田駿河臺 電話本局三〇〇〇・三〇〇四番 大日本國民中學會

腦病良藥 ヘーレン

醫學博士 [illegible] 等十數家の證明 [illegible]

藥價(三十錢・五十錢・一圓六十錢・八十五錢)

東京 中南定太郎 大阪 中南定太郎

模範牛乳 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話二五二番

ニッソ 石鹸洗粉

物品修理公告

一、馬車々輪 [illegible]

[illegible]

大正六年三月卅一日 京畿府

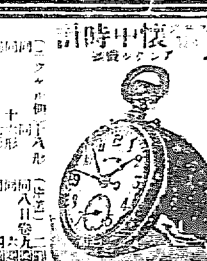
最新刊

[illegible]

京城本町 大阪屋號書店

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢

新荷著 懷中時計



[illegible]

右は今回當商會の商品にて [illegible]

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商

インクレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

朝鮮郵船出帆

[illegible]

日本郵船仁川出帆

[illegible]

金泉鐵原自動車支部

[illegible]

大邱浦項間自動車時間

[illegible]

大塚農場自動車所 大邱出張部

[illegible]

寫眞

京城 [illegible] 販賣部

大阪商船仁川出帆

[illegible]

汽船釜山出帆廣告

[illegible]

尼崎汽船仁川出帆

[illegible]

共同汽船仁川出帆

伏見丸 [illegible]

仁川代理店 野口商會